

**【東京都】
令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業
（運動部活動の地域移行に向けた実証事業）**

自治体名	東京都
担当課名	教育庁指導部指導企画課
電話番号	03-5320-7474

1. 自治体の基本情報

基本情報

人口	14,103,551人	部活動数	5,011 (R4)	実証事業に参加した市区町村数	4区2市
市区町村数	23区26市5町8村	都道府県の協議会・検討会議等の設置状況	設置済	実証事業に参加した拠点校数(域内の合計)	15校
公立中学校数	607校	都道府県の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済	地域クラブ活動に取り組んだ部活動数(域内の合計)	33部活
公立中学校生徒数	230,855人				

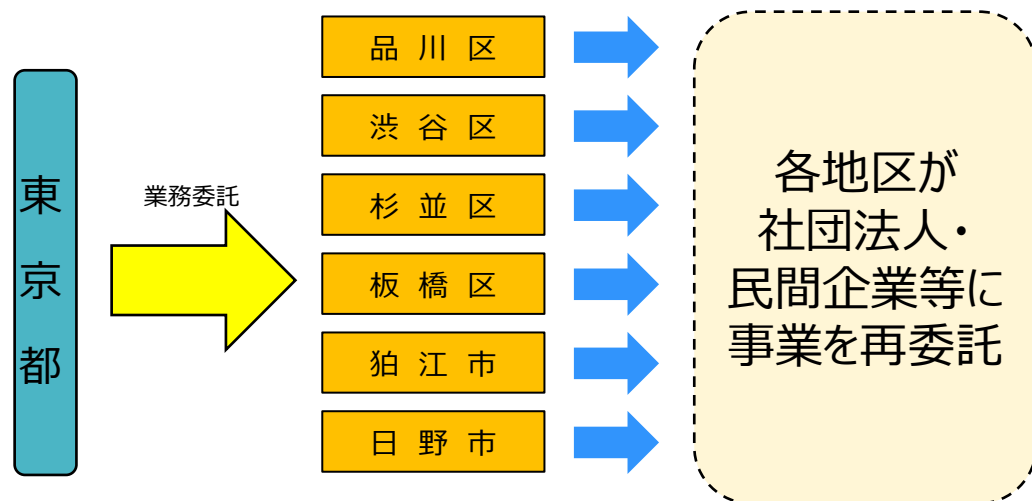
地域連携・地域移行における都道府県の現状・課題

- 1 地域の体育・スポーツ協会、競技団体及びその他のスポーツ団体及び各分野の文化芸術団体等と連携し、学校と地域が協働・融合した形での地域のスポーツ・文化芸術環境の充実を図る。
- 2 都内の各区市町村の実態に応じた地域連携・地域移行の在り方について実証事業を通じ検証する。

2. 実証内容と成果

運営体制・役割

▼事業実施体制図（都道府県と市区町村における推進体制図）



▼行政組織内での役割分担

- **教育委員会**（指導部指導企画課）
実証事業の域内とりまとめ、事業実施に関する助言等を行う
- **首長部局**（生活文化スポーツ局）
部活動地域移行関連事業全般に関し教育委員会と情報共有・連携

年間の事業スケジュール

時期	事項
8月	第1回部活動検討委員会
11月～12月	実証事業実施状況視察
12月	第2回部活動検討委員会
2月～3月	第3回部活動検討委員会（書面開催）
3月	事業完了報告書、成果報告書等の作成
随時	区市町村教育委員会への情報提供・助言等

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保証・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：ア. 関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- ・部活動検討委員会を年3回程度開催し、中学校等における部活動の地域移行に向けて、持続可能なスポーツや文化芸術環境の構築について検討する。

取組の成果

- ・部活動検討委員会を8月、12月、2～3月（書面開催）の年3回開催し、関係者との協議を踏まえて「学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画」の改訂を行った。

特に工夫した事項

- ・部活動検討委員会においては、教育庁の他、運動・文化担当部局、区市町村教育委員会関係者、学校関係者（中学校・高等学校・特別支援学校）、スポーツ・文化芸術団体関係者、大学関係者、大会主催団体関係者など、幅広い関係者を委員として、東京都の公立学校に通う全ての生徒がスポーツ・文化芸術活動に親しめる環境の構築に向け、検討を行った。
- ・分科会を設置し、校種に応じた部活動の在り方について検討した。

今後の課題と対応方針

- ・指導者の量や質の確保、特別支援学校における部活動の地域連携・地域移行、大会の在り方、受益者負担の在り方等について、一層の検討を進める。

2. 実証内容と成果

取組内容

▼取組項目名：イ：指導者の質の保証・量の確保

取組事項

- ・指導者の状況をはじめ都内のスポーツ・文化芸術環境に関する情報を集約し、域内の区市町村に対し提供するなど、広域的な調整や学校の設置者に対する助言・支援を行う。

取組の成果

- ・「未来へつなぐ部活動改革リーフレット」を作成し、情報発信した。
- ・「未来へつなぐ部活動改革ニュースレター」を4回発行し、部活動の地域連携・地域移行に関する情報を発信し、啓発活動を展開した。
- ・東京都体育協会、東京都スポーツ推進委員協議会等で研修講師を務めるなど、関係者や区市町村へ情報提供を行った。
- ・大学を訪問し、人材バンクへの登録について、協力を依頼した。

特に工夫した事項

- ・「未来へつなぐ部活動改革リーフレット」及び「未来へつなぐ部活動改革ニュースレター」について、対象に合わせて記載内容を変えたり、実証事業実施地区の具体的な取組や写真等を掲載したりするなど、学校関係者だけでなく、保護者や地域の方の関心を喚起するよう努めるとともに、人材バンクへの登録呼び掛けを掲載した。
- ・また、各種研修等では、情報を一方的に伝えるだけでなく、協議の時間を設け、区市町村間の情報共有ができるよう工夫するとともに、指導者等に関する各地区の情報を収集・共有した。
- ・体育学部や音楽学部、教育学部を擁する大学の他、総合大学等へも幅広く訪問し、指導者確保への協力を依頼した。

今後の課題と対応方針

- ・リーフレットやニュースレターについて、内容を更新し、引き続き情報発信を進める。
- ・研修について、これまでの成果から依頼が増えているため、可能な限り対応し、指導者確保に向けた取組を推進する。
- ・一層の指導者確保に向け、大学への働き掛けを強化する。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保証・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

▼取組項目名：ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

- ・地域のスポーツ・文化芸術団体、学校等の関係者の理解と協力の下、生徒の活動の場として、スポーツ・文化芸術活動を行う環境の整備について、区市町村スポーツ主管課長会議等で情報提供していく。

取組の成果

- ・区市町村スポーツ主管課長会議、文化主管課長会議、スポーツ担当者研修会等で情報提供を行った。

特に工夫した事項

- ・関係部署と調整し、可能な機会には全て対面で説明を実施した。
- ・情報提供の度に、その時期に合わせて直近の内容に更新し、最新の情報を提供するよう努めた。

今後の課題と対応方針

- ・引き続き関係団体との連携を密にし、こまめに情報提供・情報共有を行っていくことで、部活動地域移行に関する理解の促進と信頼関係の強化に努める。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

▼取組項目名：エ：面的・広域的な取り組み

取組事項

- ・体育健康教育担当指導主事連絡協議会や中学校保健体育主任連絡協議会を通じて、部活動改革を周知する。
- ・Tokyo体育健康教育ポータルにおいて、拠点地域の実践発表を行い、広く関係者及び都民等へ広報する。

取組の 成果

- ・体育健康教育担当指導主事協議会で東京都における部活動の地域連携・地域移行に関する取組を周知した。
- ・Tokyo体育健康教育ポータルに、実証事業を含む最新の情報を掲載し、学校関係者や都民等へ情報を発信した。

特に 工夫した 事項

- ・体育健康教育担当指導主事協議会では、東京都の取組を周知したほか、協議の時間を設け、区市町村間の情報共有を図るとともに、各指導主事が、部活動の地域連携・地域移行を自分ごととして捉えられるよう工夫した。
- ・Tokyo体育健康教育ポータルへの情報掲載は、最新の情報をできるだけ早く掲載するよう工夫し、こまめに更新を図った。

今後の 課題と 対応方針

- ・引き続き広く周知広報を行うことで、関係者の理解促進や機運醸成に努める。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

▼取組項目名：オ：内容の充実

取組事項

・区市町村における取組について、適宜把握し、必要に応じて指導助言を行っていく。

取組の 成果

・都内全区市町村と意見交換の場を設け、部活動地域移行に関する状況等について現場の状況を把握するとともに、実証事業参加地区に対しては、事業実施現場の視察及び実証事業実施に係る情報交換を重ねて行った。

特に 工夫した 事項

・都内全ての区市町村の担当者や幹部と情報交換を行い、全ての地域における部活動地域移行の現状について意見交換を行った。
・実証事業参加地区については、実際に指導者が入って指導している状況を視察するとともに、実証事業実施に関する担当者の現場感覚をつかむことが出来るよう、対面での情報交換の時間を出来る限り長く確保した。

今後の 課題と 対応方針

・引き続き現場との情報交換・意見交換を適切に実施し、現場の実態に合った事業進行に努める。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

▼取組項目名：カ：参加費用負担の支援等

取組事項

・区市町村における取組について、適宜把握し、必要に応じて指導助言を行っていく。

取組の 成果

・全区市町村との意見交換や実証事業参加地区との情報交換の中で、現場における参加費用負担の在り方について情報収集した。

特に 工夫した 事項

・地区によって状況も様々であり、周囲の理解を得ながら慎重に進めていく必要があるトピックであることから、一律にモデル等を示すことはせず、まずは現場の情報収集に努めた。

今後の 課題と 対応方針

・地区の状況や周囲の理解の状況を踏まえて個別に判断していく事項であるため、慎重に対応を検討していく。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

▼取組項目名：キ：学校施設の活用等

取組事項

・区市町村における取組について、適宜把握し、必要に応じて指導助言を行っていく。

取組の 成果

・全区市町村との意見交換や実証事業参加地区との情報交換の中で、活動施設の在り方について情報収集した。

特に 工夫した 事項

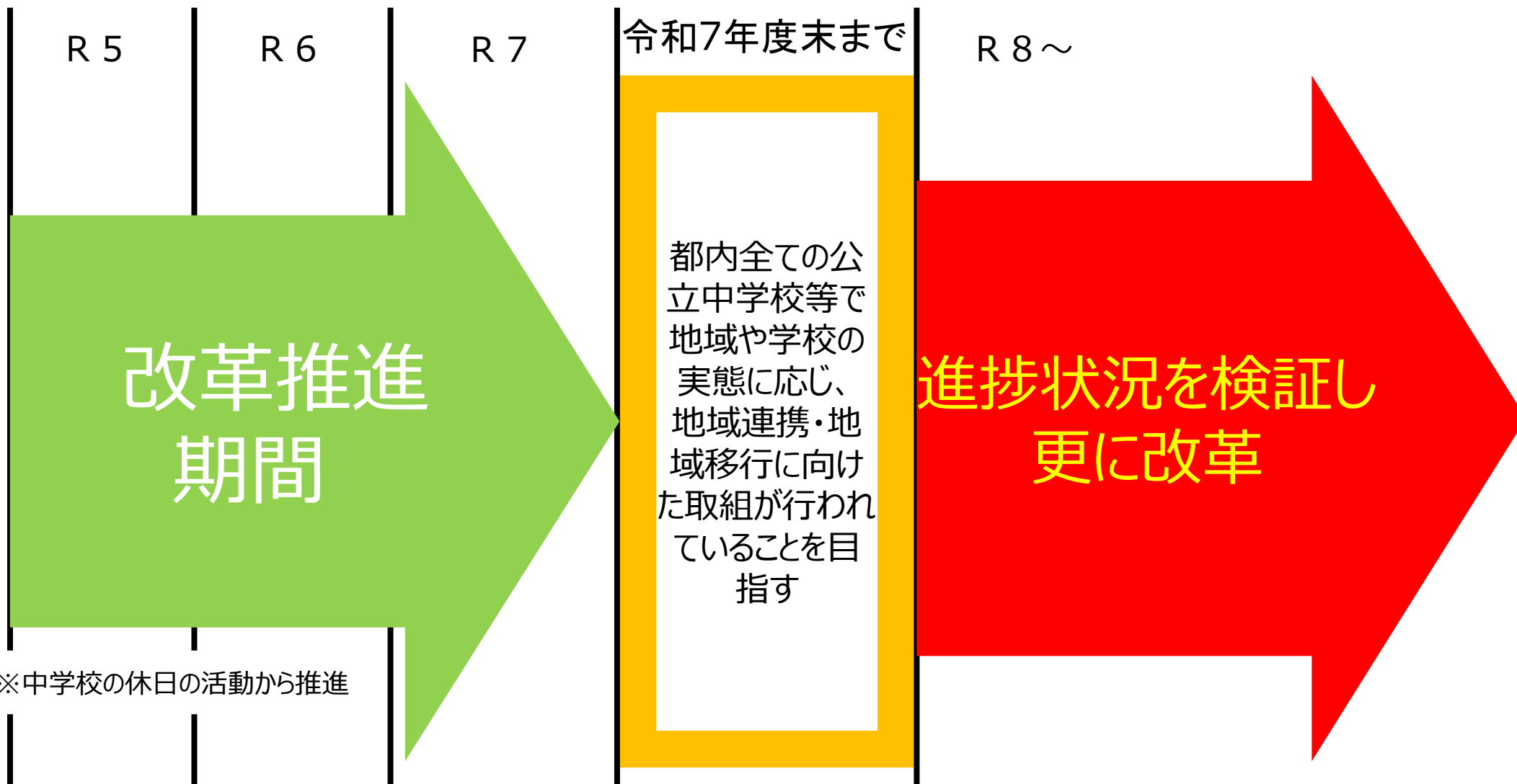
・地区の状況によって条件がかなり異なってくることから、一律にモデル等を示すことはせず、まずは現場の情報収集に努めた。

今後の 課題と 対応方針

・地区の状況や周囲の理解の状況を踏まえて個別に判断していく事項であるため、今後も個々の事例に沿った検討・調整を支援する。

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ



**【東京都品川区】
令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業
（運動部活動の地域移行に向けた実証事業）**

自治体名	東京都品川区
担当課名	品川区教育委員会 事務局 指導課
電話番号	03-5742-6832

1. 自治体の基本情報

基本情報

人口	408,288人 (令和6年2月1日現在)	部活動数	186部活(令和5年11月調査) 運動部105部活 文化部81部活
公立中学校数	15校	市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
公立中学校生徒数	5,189人 (令和5年5月1日現在)	市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向けて準備中

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

＜学校部活動の現況＞今年度品川区では、様々な機会をとらえて生徒・教職員・地域保護者から意見集約を行ってきた。

1 生徒の声 ＜部活動や地域でのスポーツ・文化活動に関するアンケート 令和4年9月＞

アンケートを実施した結果、部活動に加入しているほぼ全ての生徒が現在の部活動に満足している。一方で、約6割の生徒が現在の部活動とは別に、部活動にはない興味がある活動ができた場合、参加したいと考えている。また、合同部活動や地域での活動機会を増やした場合、約75%の生徒が参加したいと考えている。

2 教職員の声 ＜兼業・兼職による部活動に関するアンケートについて 令和5年3月＞

アンケートを実施した結果、区内の教職員の2割程度が、教員として働いている間は部活動指導を続けたいと考えている。一方で、約7割の教職員が有償・無償を問わず、土・日の部活動の兼業・兼職を希望しないと回答している。

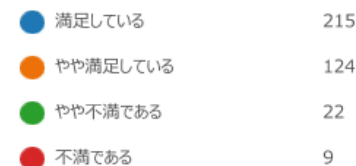
3 地域・保護者からの声

校区教育協働委員会で、これまで行ってきた部活動のときと同じように行われながら地域移行できるようにしていく必要性についてご指摘があった。

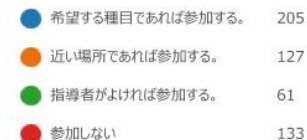
4 生徒の声（生徒全体および生徒会代表）＜生徒会アンケートについて 令和5年 7月6日＞

生徒全体へのアンケートについては、令和4年度に引き続き、9割以上の生徒が現在の部活動に満足していると考えている。また、6割以上の生徒が、今後、資格のある専門的な指導者から指導を受けたいと考えている。生徒会代表へのアンケートにおいては、部活動の地域移行について、特に地域部活動では学校ではできない部活動があるので魅力があるという意見が多かった。一方で、不安な点としては、費用負担が現状の学校部活動より増えないようにしてほしいという意見が多かった。

【部活動に「加入している方」のみお答えください】
現在の部活の満足度を教えてください。



合同部活動（複数の学校で1つの部活動を行うこと）や地域での活動機会を増やした場合、参加したいと思いますか？※複数選択可

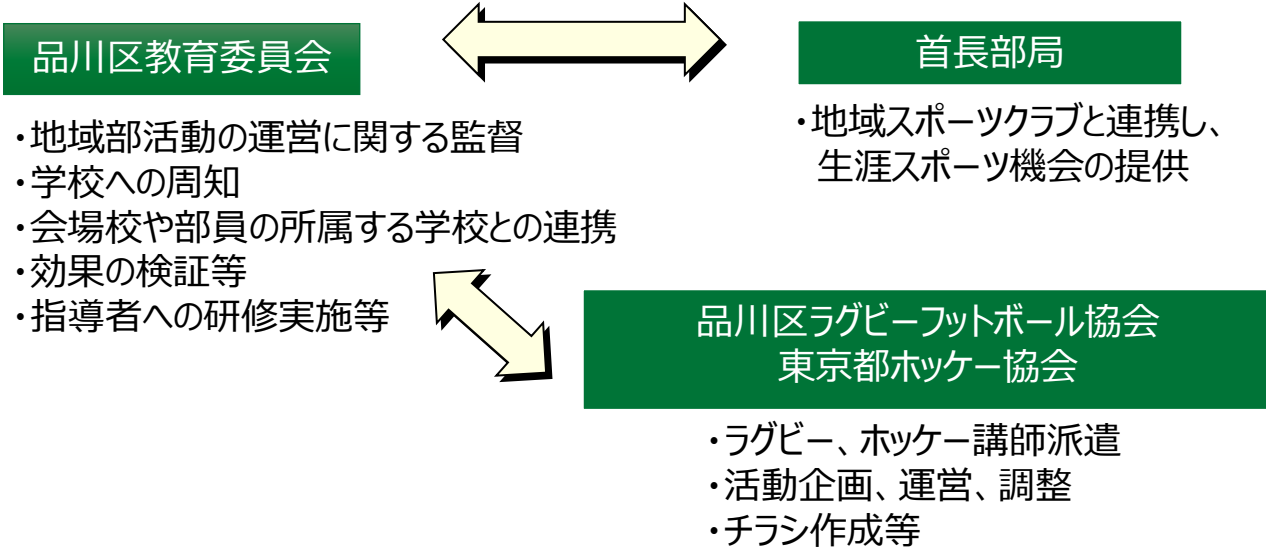


部活動や地域でのスポーツ・文化活動に関するアンケート
令和4年9月1日（木）～令和4年9月8日（木）実施

2. 実証内容と成果

運営体制・役割

▼運営体制図（品川区における推進体制図）



▼行政組織内での役割分担

- **教育委員会（指導課）**
 - 地域部活動の運営に関する監督
 - 学校への周知
 - 会場校や部員の所属する学校との連携
 - 効果の検証等
- **首長部局**
 - 地域スポーツクラブと連携し、生涯スポーツの機会の提供

年間の事業スケジュール

年度	5年度												6年度		7年度	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	前期	後期	前期	後期
部活動指導員の拡充	各学校2名（1人×5日）体制 各学校において随時任用 ※活用状況に応じて次年度の拡充検討・研修実施												拡充			
協議会の設置		協議会設置		R6 予算化 第1回協議会				第2回協議会		第3回協議会			年間3回実施		年間3回実施	
関係団体との連携	一般社団法人東京都ホッケー協会および一般社団法人品川区ラグビーフットボール協会との連携 複数の地域スポーツクラブの設置 募集・周知 活動（水・日）												継続・検証		展開を検討	
民間委託				R6 予算化に向けた検討						プロポーザル			民間委託実施・検証		継続	
									実施部の検討							

2. 実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

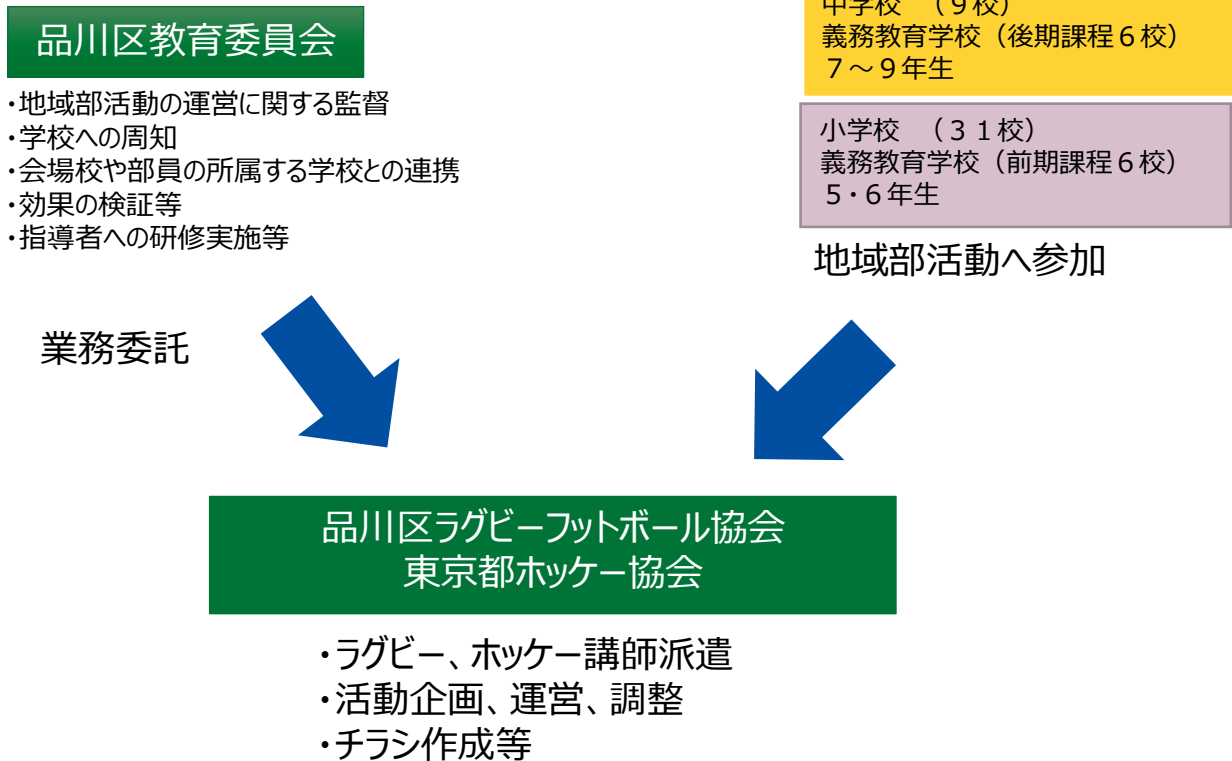
拠点校数	複数会場で実施	地域クラブ活動に取り組んだ種目	ラグビー、ホッケー
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数	既存の部活動にない活動		

主な取組例

▼活動概要

拠点校名	複数会場で実施
地域クラブ活動に移行した部活動数	0部活
地域クラブ活動で実施した種目	ラグビー、ホッケー
運営主体名	一般社団法人 品川区ラグビーフットボール協会 一般社団法人 東京都ホッケー協会
運営類型	民間スポーツ事業者運営型
1か月あたりの平均的な活動回数	ラグビー：月9回程度 ホッケー：月4回程度
指導者の主な属性	ラグビー ・SCJ (Sports Coaching Japan) 認定コーチディベロパーLv1 ・JRFU A級コーチ ・JRFU B級コーチ ホッケー ・元日本代表・日本ホッケー協会アスリート委員会委員長 ・ジャッジ競技
活動場所	品川区立伊藤学園 品川区立荏原平塚学園 品川区立豊葉の杜学園 品川区立八潮学園 東京都立大崎高校 JR東日本東京総合車両センター 大井ホッケー競技場
主な移動手段	徒歩・電車・バス
1人あたりの参加会費等(年額)	ラグビー：3,000円 ホッケー：3,000円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

▼運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



2. 実証内容と成果

参考資料 (活動写真)



【ラグビー部】



【ラグビー部】



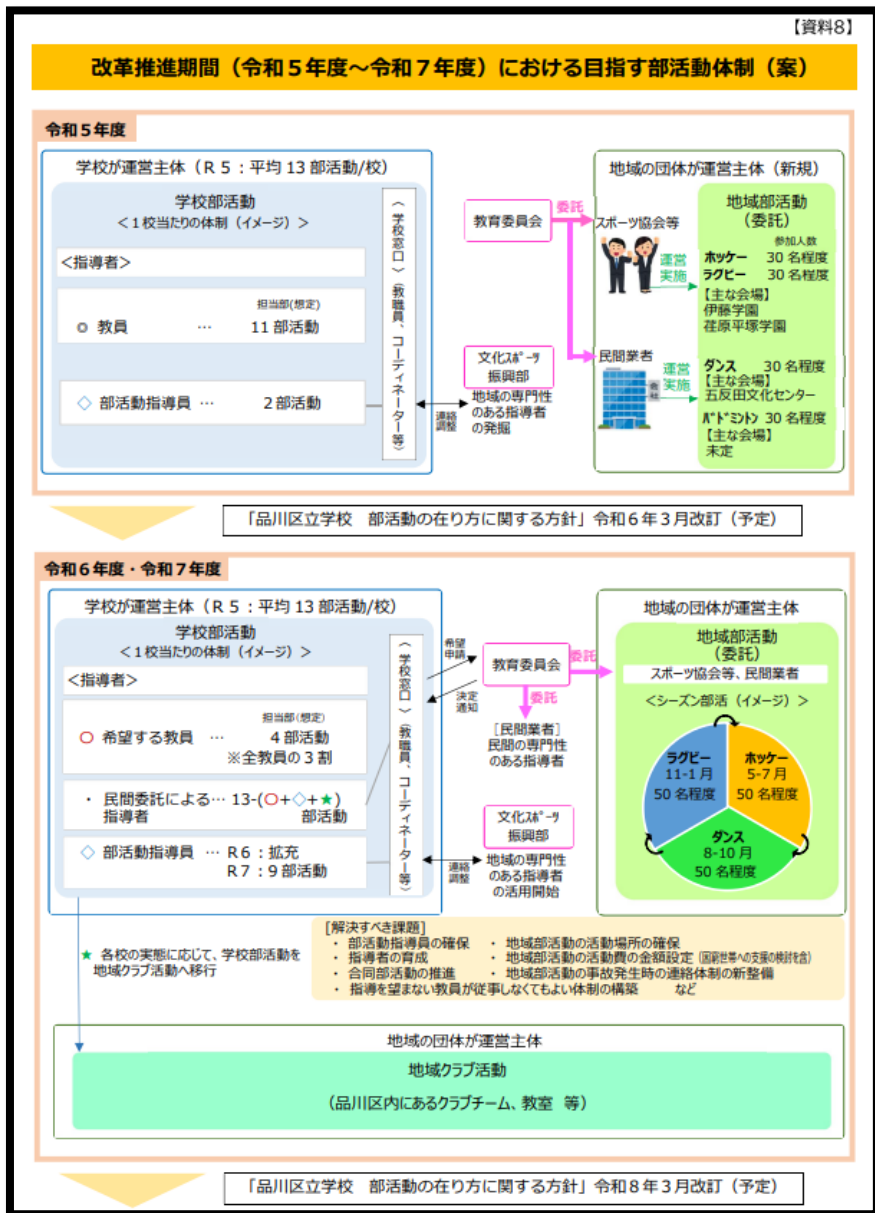
【ホッケー部】



【ホッケー部】

2. 実証内容と成果

参考資料 協議会等で使用した資料の抜粋等



【協議会等で使用した資料の抜粋】

品川区立学校の部活動改革

【資料5】

- 子どもたちにとって望ましい持続可能な部活動の体制整備 -

品川区教育委員会および品川区では、品川区立学校における部活動の地域連携・地域移行に向けて取り組んでいます。

部活動の地域連携 … 学校が運営主体となり、部活動指導員等、地域の方々と連携した指導により、運営するものです。

部活動の地域移行 … スポーツ協会や民間団体、大学等、地域の様々な団体等が運営主体となり、地域の方々の指導により、運営するものです。

1 部活動を地域連携・地域移行するよさ

子どもたちの自己実現の機会が確保される。

とともに、地域への愛着が深まります。

子どもたちの興味・関心に沿った様々な活動の機会を地域の特色を生かして創出します。

生涯にわたって、スポーツや文化芸術を味わい、楽しむことができます。

部活動といった一定期間の活動の機会にとどまらず、継続的に活動できるようにします。

地域の教育力が、更に高まります。

活動する子どもの数や専門的な指導者の確保などの課題を解決し、持続可能な取組にします。

学校の教育力が、更に高まります。

学校の働き方改革を推進し、授業の充実、地域や保護者へ開かれた学校づくりを更に進めます。

【協議会等で使用した資料の抜粋】

2. 実証内容と成果

参考資料（広報物）

11月から新しい「ブカツ」を始めよう

～安全で楽しい、みんなの部活動～

地域部活動（ラグビー部）のお誘い

品川区立学校で、より多くの子ども達がスポーツを楽しめることを目指し、新しい地域部活動が11月から始まります。
安全には十分に配慮して活動しますので、これまでラグビー、他の球技の経験がない子ども達も、性別問わず、どの小学校、中学校、義務教育学校からでも参加できます。

オンライン相談会へ！
令和5年10月4日（水）20:00-20:45
申し込み方法：右の2次元コードより
9月30日（土）15時より、申し込みを開始




地域部活動（ラグビー部）へのお申し込みについて

対象：品川区立小・中学校、義務教育学校の5-9年生
（性別問わず）
定員：30人（2023年度）
開催期間：2023年11月1日（水）-12月24日（日）[全16回]
会場：伊藤学園、荏原平塚学園、大崎高校など
費用：3000円（参加回数に関わらず/保険料込み）
保険：スポーツ安全保険に加入
ルール：今年度はタックルなどの接触プレーを伴う試合は行いません。

新しい品川区の地域部活動（ラグビー）の特徴

- ✓品川区ラグビー協会のコーチが指導します。
- ✓全区立小学校・中学校・義務教育学校（小学生・前期課程は5年生以上）から参加できます。
- ✓性別問わず参加できます。
- ✓活動は週2日（全16回）
- ✓ラグビーを通じて「人間的成長」と「スポーツの楽しさ」を体験することを目指します。

品川区教育委員会委託事業 / (一社)SRU品川区ラグビー協会
※SRUは「スポーツをみんな化する」ために活動している一般社団法人です。

平日の活動日

活動日	活動時間	会場
11月1日（水）	16:00-18:00	未定
11月8日（水）	16:00-18:00	未定
11月15日（水）	16:00-18:00	未定
11月22日（水）	16:00-18:00	未定
11月29日（水）	16:00-18:00	未定
12月6日（水）	16:00-18:00	未定
12月13日（水）	16:00-18:00	未定
12月20日（水）	16:00-18:00	未定

休日の活動日

活動日	活動時間	会場
11月5日（日）	10:00-12:00	伊藤アカホリ野 金糸高センター
11月12日（日）	16:00-18:00	伊藤学園
11月19日（日）	16:00-18:00	伊藤学園
11月26日（日）	16:00-18:00	伊藤学園
12月3日（日）	16:00-18:00	都立大崎高校
12月10日（日）	16:00-18:00	荏原平塚学園
12月17日（日）	16:00-18:00	東京市本城高野 立本高野センター
12月24日（日）	16:00-18:00	荏原平塚学園




【ラグビー部 広報物】

Let's Play HOCKEY

地域部活動（ホッケー部）へのお誘い

品川区立学校で、より多くの子ども達がスポーツを楽しめることを目指し、新しい地域部活動が11月から始まります。
※こちらは、品川区教育委員会委託事業/受託：(一社)東京都ホッケー協会です。

参加対象：品川区立小・中・義務教育学校の5～9年生
※これまでにホッケーや他の球技の経験がない子ども達でも、性別問わず、どの小学校、中学校、義務教育学校からでもご参加いただけます。

定員：30人（2023年度）
開催期間：2023年11月5日（日）-12月24日（日）
[全8回]+試合2日（1月中を予定）
会場：伊藤学園、荏原平塚学園、大崎高校、大井ホッケー競技場（※未定、試合会場）

入部費用：3000円（参加回数に関わらず/保険費用含む）
保険：スポーツ安全保険に加入
ホッケー用具は貸出します。動ける格好で、飲料はお持ちください。





	活動日	活動時間	会場
第1回	11月5日(日)	16:00-18:00	伊藤学園
第2回	11月12日(日)	16:00-18:00	伊藤学園
第3回	11月19日(日)	16:00-18:00	伊藤学園
第4回	11月26日(日)	16:00-18:00	伊藤学園
第5回	12月3日(日)	16:00-18:00	都立大崎高校
第6回	12月10日(日)	16:00-18:00	荏原平塚学園
第7回	12月17日(日)	16:00-18:00	荏原平塚学園
第8回	12月24日(日)	16:00-18:00	荏原平塚学園
試合	1月8日(月祝)未定	未定	(仮:大井ホッケー競技場)
試合	1月20日(土)未定	未定	(仮:大井ホッケー競技場)



【ホッケー部 広報物】

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保証・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ

取組内容

▼取組項目名：ア. 関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

一般社団法人 品川ラグビーフットボール協会が主体となりラグビー部、一般社団法人 東京都ホッケー協会が主体となりホッケー部、の運営を行う（令和5年度も同協会に教育委員会から委託）。本事業の取組を教育委員会（指導課）が首長部局（スポーツ推進課）と連携し、本事業が円滑に実施できるようにする。

取組の成果

協議会で心配されていた指導者の質や児童・生徒トラブルなどについては、各協会ともにファシリテーション・コミュニケーション能力が高い指導者が派遣された。

地域部活動の活動の際は、教育委員会が現地に行き、協議会で話し合われた視点も含めて、監督し、運営主体に対して、指導・助言を行い、部員の安心・安全を確保しつつ、活動の更なる充実につながった。

部員が記載した練習日誌を運営主体が教育委員会を通して、部員所属の学校に情報提供することで、学校と地域部活動の連携が図られた。

特に工夫した事項

ラグビーについては、品川区立学校教育要領に基づき、体育科においてタグラグビーが取り扱われており、関連を図りながら指導することができた。ラグビーは、区内にすでに複数の地域クラブがあり、生涯スポーツとして取組可能なスポーツであることを参加者に意識させることができた。

ホッケーは、東京都教育委員会が推進しているオリンピック・パラリンピック教育における本区に指定された応援競技の一つであるとともに、区内に競技場も有しているスポーツである。さらに、本区は、令和5年11月1日に日本ホッケー協会から「公式ホッケータウン」に認定された。

上記を踏まえ、今年度、ラグビーとホッケーともに、「品川ならではのスポーツ」として、展開していくことができた。

今後の課題と対応方針

地域部活動の運営体制の強化を図る。本事業における地域部活動については、指導者の質、児童・生徒の安全確保や個人情報の取扱いについてより配慮した運営が必要であることも踏まえ、指導者の研修方法、生徒等・保護者等との連絡方法、緊急時の対応等について、地域移行を進める際のモデルを確立する。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保証・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

取組内容

▼取組項目名：イ：指導者の質の保証・量の確保

取組事項

一般社団法人 品川ラグビーフットボール協会および一般社団法人 東京都ホッケー協会より、指導者を派遣する。ホッケー部およびラグビー部、それぞれ毎回の練習に2名以上の指導者を配置する。

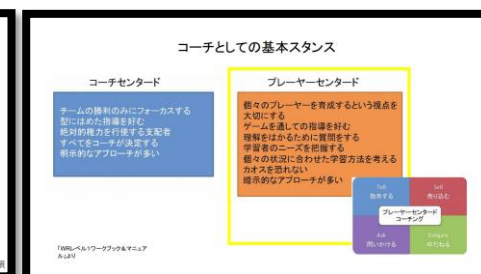
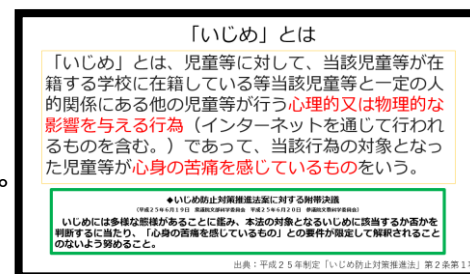
取組の成果

＜品川区ラグビーフットボール協会＞ 7名
 ・リオオリンピック7人制日本代表（元15人制日本代表）
 ・SCJ（Sports Coaching Japan）認定コーチディベロパーLv1
 ・JRFU A級コーチ・JRFU B級コーチ
 ・JRFU C級コーチ・JRFU スタートコーチ
 ・走りの教室公認インストラクター

＜東京都ホッケー協会＞ 6名
 ・元日本代表
 ・日本ホッケー協会アスリート委員会委員長
 ・ジュニアチーム（2020HCフリークス東京U15）ヘッドコーチ
 ・D級審判・C級審判
 ・ジャッジ競技役員
 ・スポーツリズムディフューザー

特に工夫した事項

事前に指導者対象の研修を受講するように依頼したことに加え、教育委員会指導主事によるいじめ防止研修を実施した。事前にオンライン説明会で、各部活動の指導者の方針を、各部活動の参加部員ならびに保護者に伝え、共通理解を図った。



今後の課題と対応方針

今後も、引き続き各協会に委託することで、質の高い指導を行うとともに専門的な観点から安全に配慮した活動を行う。事前アンケートにおいて、指導面について不安と回答していた部員が複数いたが、事後アンケートではラグビーは減少するとともにホッケーでは0名となった。事後アンケートにおいて、自由記述から「信頼できるスタッフの方々ばかりでした。また来年もやりたいです。」等の声が寄せられ、部員、保護者ともに指導者に対して肯定的な評価だった。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保証・量の確保
 ウ：**関係団体・分野との連携強化**
 エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

▼取組項目名：ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

教育委員会（指導課）が首長部局（スポーツ推進課）と連携して進める。指導課で協議会を設置し、年3回程度の協議の場を活用しながら、事業の進捗状況の把握および効果検証等を実施する。

取組の成果

一定の理解を得られ、大きな課題なく、活動を終えることができた。

指導にあたっては、当該活動の特性を考慮した上で、グループ分けをするなど、児童・生徒等の体力や技能の程度、年齢や性別および障害の有無等に配慮し活動できた。

協議会において、地域部活動の運営や指導の内容について協議し、保護者、地域、学校、関係団体等様々な立場からの意見により、内容の充実につなげることができた。

協議会において、地域部活動の成果と課題を共有し、委員を通して、地域部活動の運営主体以外の地域クラブ活動の運営主体等に周知することができた。

特に工夫した事項

各学校代表の生徒の声を聞きながら事業を推進した。 品川区立各中学校および各義務教育学校の生徒会長15名（女子8名 男子7名）

(部活動の地域移行について、品川区や品川区教育委員会への期待や配慮してほしいこと)

- ・場所が遠くならないように。時間も遅くならないようにしてほしい。
- ・お金の面で今の部活と同じようにならないようにしてほしい。
- ・快適にできる環境（設備の充実、広い場所、温かいプール等）を確保してほしい。
- ・平日は学校で先生に教えてもらって、休日は学校外で専門の先生に教えてもらうのがよい。
- ・勝つことを目指すチームと楽しく行うチームなど、両方のチームがあるとよい。
- ・ゲームの時間や大会などの活躍の場の確保してほしい。
- ・専門的な知識や技術がある人をお願いしたい。
- ・人間関係（大人や子ども）が広がるような環境を期待したい。等

- ・地域別にコーチをつける場合にレベルを同じにしてほしい。
- ・指導者が技術面だけでなく、学校の実情を理解し、尊敬できる人を期待する
- ・地域連携については、指導者同士が言うことが違うと困るので、連携をよくとってほしい。
- ・合同練習をした時に、他校の生徒の距離感がわからないので、事前に話す時間等あれば良い。
- ・今活動している団体の機会を奪わないようにしてほしい。等

今後の課題と対応方針

今後も継続して協議会を実施し、首長部局、地域のスポーツ団体との連携・協働を図りながら、地域人材の発掘、活用等につなげていく。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

▼取組項目名：エ：面的・広域的な取り組み

取組事項

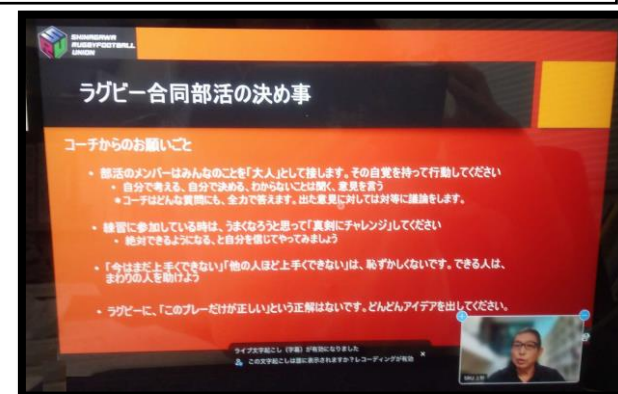
拠点校を設置（ラグビー：豊葉の杜学園・ホッケー：八潮学園）し、区内の全小学校31校、中学校9校、全義務教育学校6校の計46校から参加児童（5年生・6年生）・生徒（7年生から9年生）を募集した。（最大受入人数は、ラグビーおよびホッケーともに各30名）。

取組の成果

教育委員会が拠点校の校長と連携し、拠点校の教員が協会と連携することで、拠点校からの参加数が増えた。対象学年における全学年からの申込みがあり、様々な年齢における運動機会の創出につながった。複数の学校（15校）からの入部があり、幅広い地域を網羅する活動となった。当該スポーツの経験者のみならず、未経験者も多く（全部員の8割程度）参加することができ、幅広いニーズに対応することができた。

特に工夫した事項

各協会がチラシを作成し、教育委員会が学校と連携して、学校で配付および掲示をすることで地域部活動のスケジュール等を周知した。
対面やオンラインによる説明会を複数回実施し、活動内容等の周知、疑問の解消に努めたことで、活動第1回を円滑にスタートすることができた。
活動場所として複数の会場を設定することで、品川区全域からの参加者を迎えることができた。



令和5年 10月5日（水） オンライン相談会

今後の課題と対応方針

地域部活動への入部率、出席率の上昇のため、交通利便性が高く、環境の整った活動拠点を設定することで活動の質の更なる向上を目指す。さらに多くの児童・生徒の活動の場の創出につながるよう、入部前の体験会の設定等により、当該スポーツに対する興味関心の向上、当該スポーツに対する未経験者や指導者の様子等、地域部活動に対する不安解消を図る。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

▼取組項目名：オ：内容の充実

取組事項

一般社団法人品川ラグビーフットボール協会および一般社団法人東京都ホッケー協会それぞれから指導者を派遣することで、専門的な指導を受けられるようにする。また、児童・生徒・保護者・地域が期待している、学校部活動で実現していた参加児童・生徒の自主的な取組態度を引き出し、伸長させることができる指導の実現を図るため、指導者対象の事前研修を実施する。

取組の成果

児童・生徒の変容について、以下のようなことが挙げられる。

- ・専門的な指導者から多くのことを学ぶ機会となり、運動を楽しむ姿が見られた。
- ・回を重ねるごとに児童・生徒の体力面や人間性の向上が見られた。
- ・児童・生徒が学校部活動にない競技に興味をもった。
- ・初心者だけでなく経験者も上達がみられた。

事後アンケートでは、地域部活動のイメージについて部員の7割以上が「楽しくできる」と回答した。また、部員全員が試合を楽しめる技能まで向上した。

特に工夫した事項

一般社団法人品川ラグビーフットボール協会および一般社団法人東京都ホッケー協会それぞれから、専門性の高い指導者を複数派遣することができた。その指導者を対象として、教育委員会指導主事が独自に構築した研修を事前に行うことで、全参加者が満足度の高い活動内容となった。各活動の終了後には、指導者が、部活動参加者が記入したコメントに対して励ましの言葉を記入するようにした。その内容をもとに、教育委員会指導主事から指導者へのフィードバックを行った。指導者の励ましから、部活動参加者が自身の技能向上の状況を毎回確認することができ、活動意欲の維持につながるともに、指導者の指導力も質の高いレベルを維持することができた。

今後の課題と対応方針

競技に関する内容に限らず、子どもたちの体調や心理面に配慮した指導が可能となるよう、研修の質の向上を図る。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

▼取組項目名：カ：参加費用負担の支援等

取組事項

参加児童・生徒の保険料を自己負担3000円を徴収を徴収する。

取組の成果

地域スポーツクラブ活動に係る収支を踏まえた会費の適切な設定
徴収方法の検討や、保護者負担経費の調査（既存の部活動における
活動経費との比較や調整・管理の在り方を含む）・検討を行った。

参加費徴収に関する否定的な意見は、保護者、部員からなかった。
口座振込による徴収方法をとることにより、事故なく全部員保護者から適切
に徴収することができた。

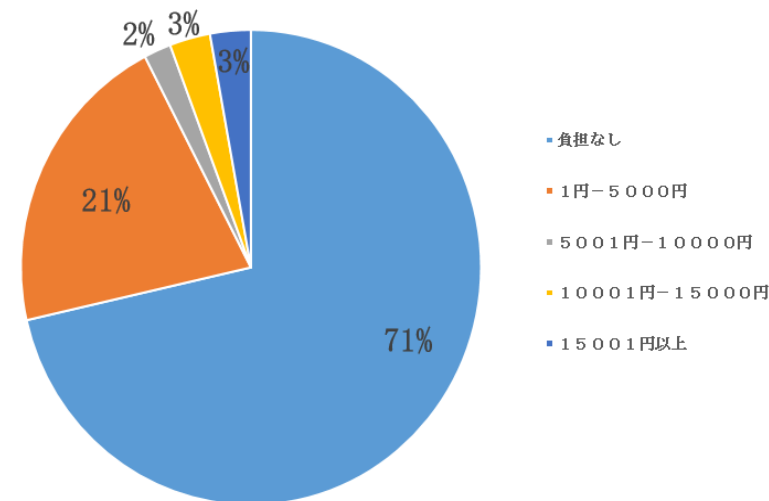
特に工夫した事項

地域スポーツクラブ活動に参加する困窮世帯が参加ができるように必要な
経費目・金額を調整し、可能な限りおさえた。

今後の課題と対応方針

令和6年度は無料とし、参加児童・生徒の保険料および参加費を区費負担で行う。その上で、令和5年度との比較検討による適切な受益者負担の検討を行う。また、無料にすることで参加率向上による体験機会の確保を図る。

令和5年度 運動部活動および文化部活動における1人あたりの1年間の部費の金額について



調査日 令和5年11月6日(月)～11月15日(水)

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

▼取組項目名：キ：学校施設の活用等

取組事項

義務教育学校の校庭・アリーナなどを活用する。それぞれの拠点校として、ラグビーを豊葉の杜学園、ホッケーを八潮学園とする。
→ラグビー部は、品川区立伊藤学園、品川区立荏原平塚学園、品川区立豊葉の杜学園、東京都立大崎高等学校、JR東日本東京総合車両センターを活用。
ホッケー部は、品川区立伊藤学園、品川区立荏原平塚学園、品川区立八潮学園、大井ホッケー競技場を活用。

取組の成果

学校の施設・設備・備品等を使用して、地域スポーツクラブ活動を実施する際の利用指定管理者制度や業務委託等による運営を行った。
トイレ、AED等が完備されており、安心・安全に活動を実施することができた。

特に工夫した事項

ルール（施設・設備・備品等の利用範囲や破損・紛失した場合の対応、施設の開閉手段・方法を含む）を策定した。
複数の会場を活用することで、どの部員にとっても、アクセスしやすい会場を一度は利用できるようにした。
各種目に対する部員の興味関心を高めるため、当該種目と地域との関連のある場所（東京2020オリンピック競技大会の開催会場となったホッケー競技場や区内にある企業のラグビー場）を会場として活用した。

今後の課題と対応方針

各協会が余裕をもって会場確保を検討して進めることで、地域部活動の持続可能性を高めていく。
部員のニーズを踏まえながら、部員が安心・安全に会場と自宅を移動できるよう、活動場所について、拠点となる活動場所を設定する。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

▼取組項目名：ク：その他の取組

取組事項

他の地域スポーツ団体（地域スポーツ団体・公立学校以外の学校部活動等）との交流を実施できた。

取組の 成果

ラグビー

JR東日本東京総合車両センターで実業団の社会人チームと合同練習をし、ラグビーに対する理解を深めた。（1回実施した。）

ホッケー

実際のホッケー場（オリンピックスタジアム）で、日ごろ活動している他の学校やクラブチームとの交流試合を設けることで、ホッケーに対する理解を深めた。（2回予定であったが、雨天中止により1回の実施となった。）

特に 工夫した 事項

一般社団法人品川ラグビーフットボール協会および一般社団法人東京都ホッケー協会に事前の打ち合わせで他の団体との交流について打ち合わせを重ねた。

ラグビー：協会が日頃よりネットワークをもっている品川区に練習会場をもっている企業とCSRの観点から積極的に連携を図ることができた。

ホッケー：協会が、地域部活動に参加する部員数が少なかったことから、少しでも多くの人数を確保していく観点から積極的に連携を図ることができた。

今後の 課題と 対応方針

各協会と今年度以上に連携を図りながら、交流の機会を増やしていく。

2. 実証内容と成果

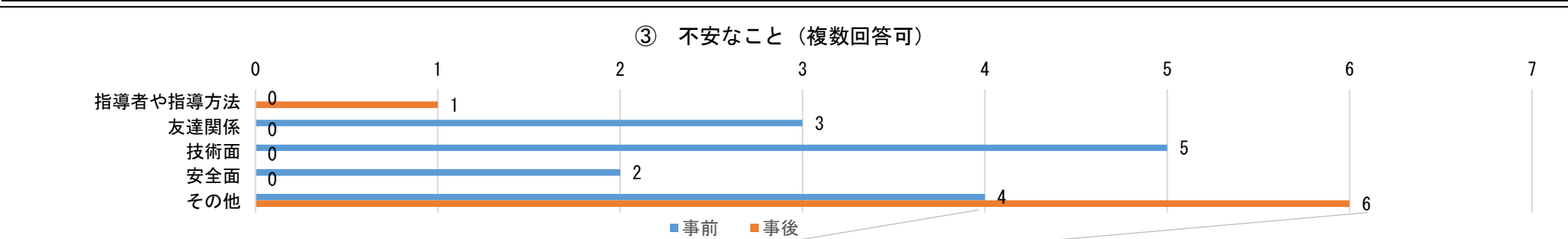
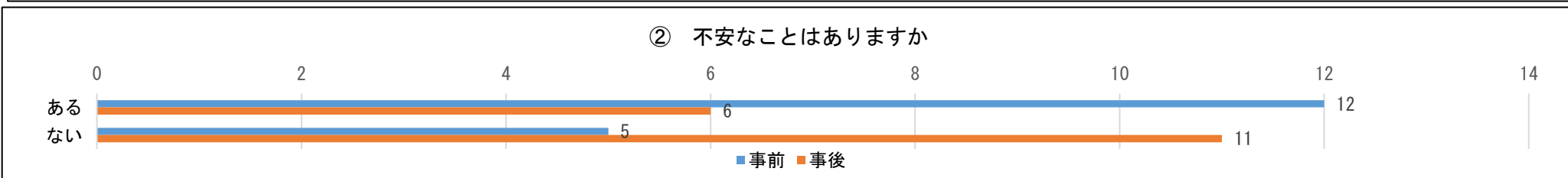
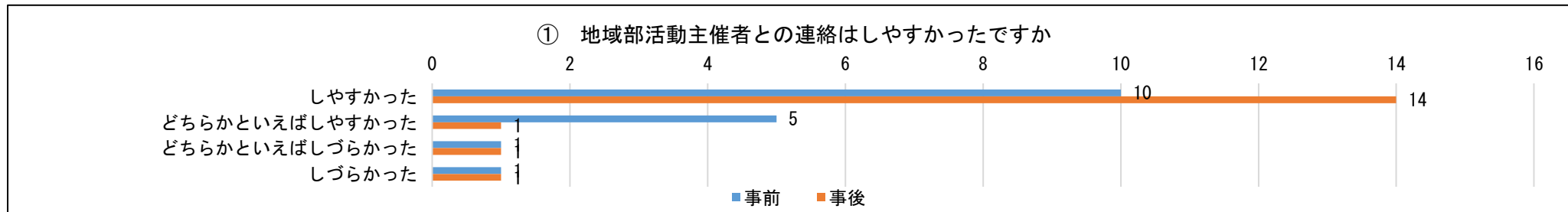


ラグビー 保護者 アンケート

17名（兄弟がいるため児童生徒数より1名減）

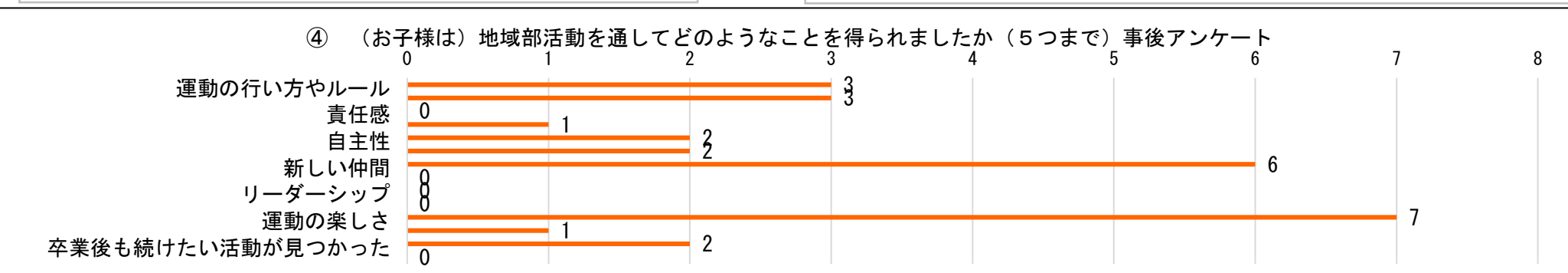
事前アンケート：令和5年10月31日（火）依頼

事後アンケート：令和5年12月24日（日）依頼



その他の記載（事前） 個人情報の扱いについて気を付ける事象がある。
オンラインミーティングへの参加。等

その他の記載（事後） 体力的に同じメニューをこなせるか心配。行ったことがない会場に一人でいけるか心配。



2. 実証内容と成果

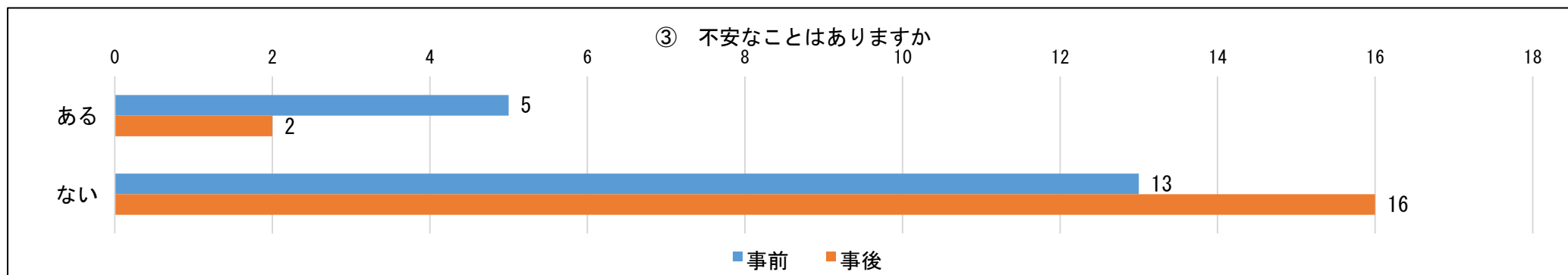
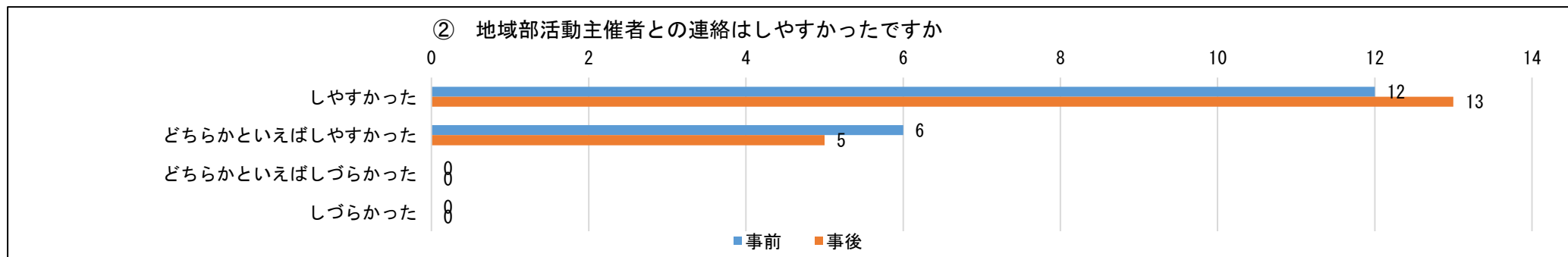
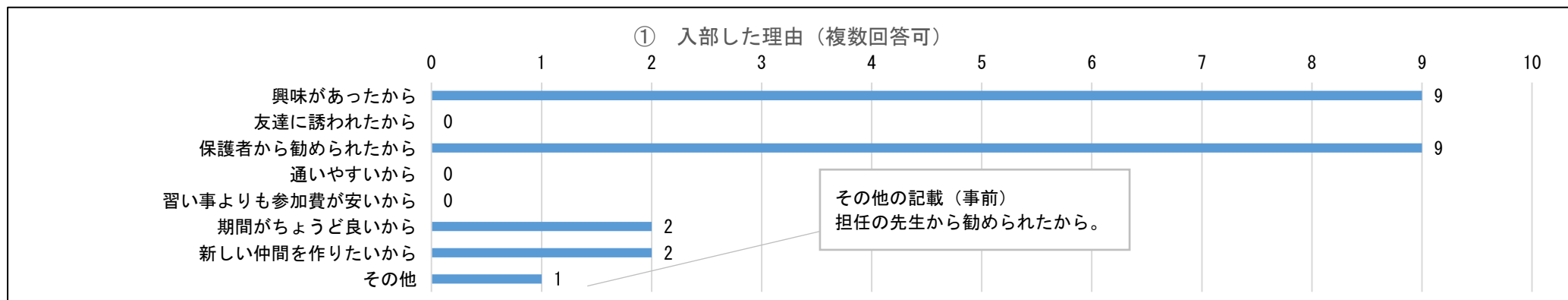


ラグビー 児童・生徒 アンケート

18名（児童・生徒用アンケート）

事前アンケート：令和5年10月31日（火）依頼

事後アンケート：令和5年12月24日（日）依頼



2. 実証内容と成果

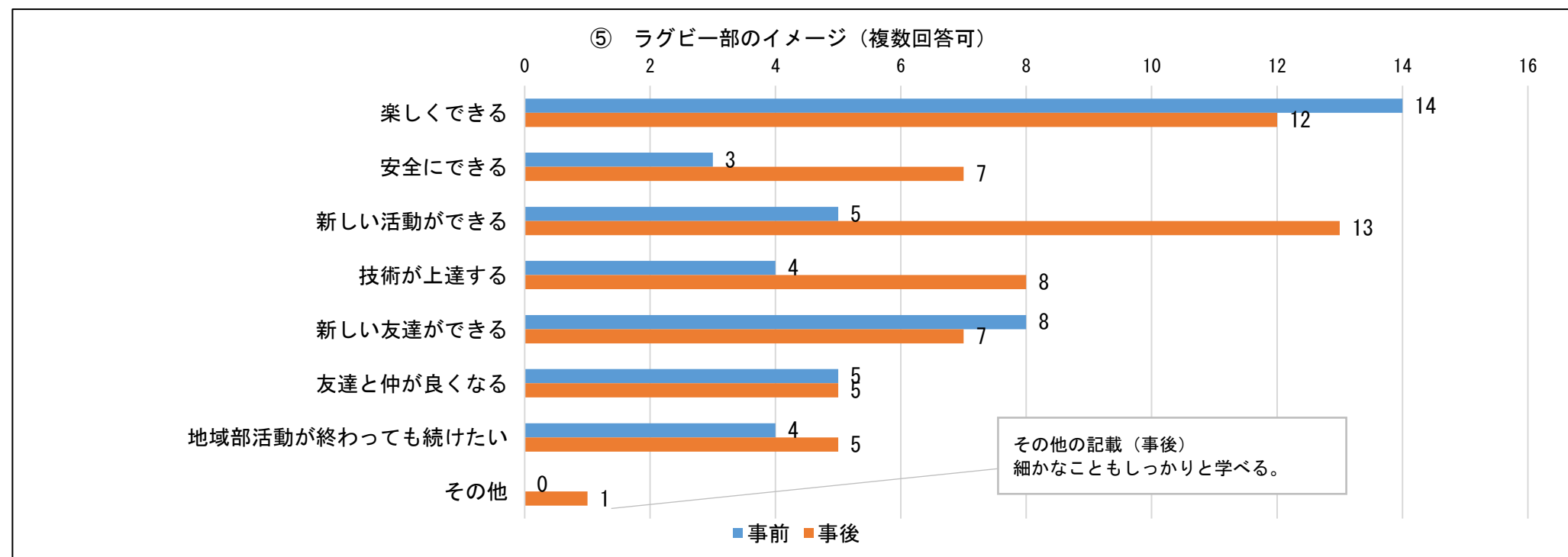
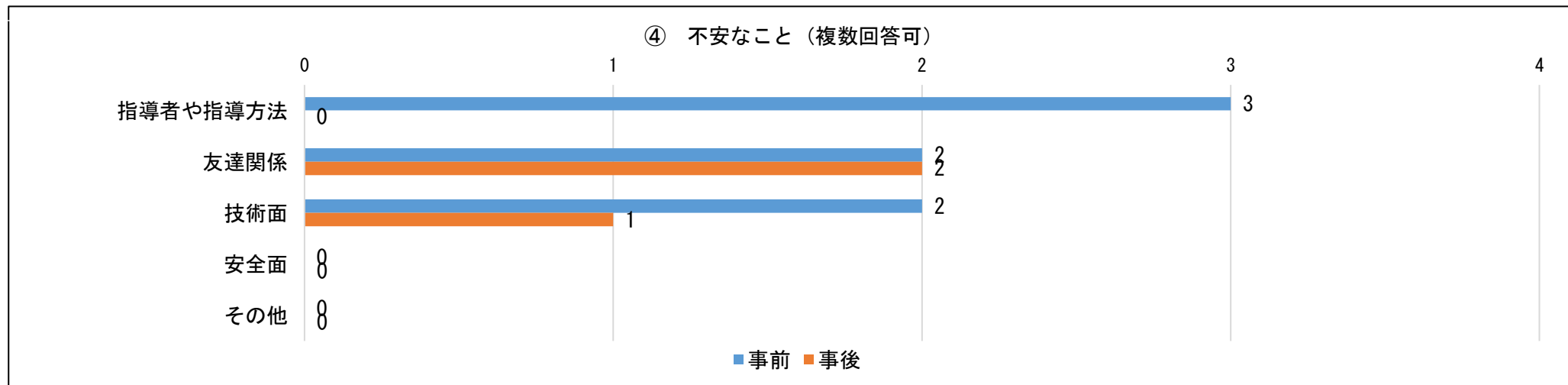


ラグビー 児童・生徒 アンケート

18名（児童・生徒用アンケート）

事前アンケート：令和5年10月31日（火）依頼

事後アンケート：令和5年12月24日（日）依頼



2. 実証内容と成果



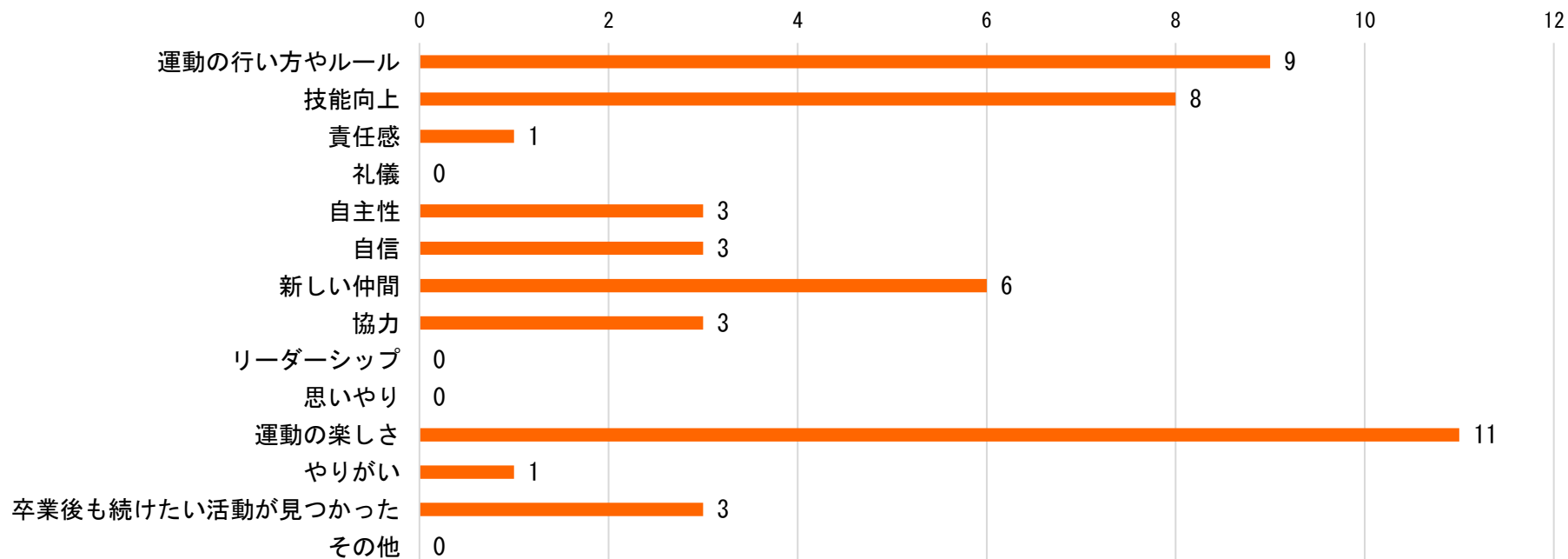
ラグビー 児童・生徒用アンケート

18名（児童・生徒用アンケート）

事前アンケート：令和5年10月31日（火）依頼

事後アンケート：令和5年12月24日（日）依頼

⑥ 地域部活動を通してどのようなことを得られましたか 事後アンケート



<練習日誌より>

- ・チームメイトとの関係ができた。いい感じになってきた。
- ・初めてタッチフットをしました。とても楽しかったです。
- 前よりもパスがうまくいったし、声を出してパスをできるようになったのでよかったです。

2. 実証内容と成果

<要望・感想（保護者）> 事後アンケート

- ・初心者なのに丁寧に指導いただきまして、ありがとうございました。
- ・中学生の方々にやさしく見守られ、またそのような姿により影響を受けて普段より積極的な態度で参加することができました。
- ・気軽にいろいろなスポーツに触れられる機会を作っていただきとても感謝しています。
- ・毎年、コーチ陣ががらりと変わるなどはない方が安心です。
- ・期間限定の活動ではなく、長く続けられるよう活動を続けていただきたいです。
- ・すごく楽しそうにやっていました。コーチの指導もわかりやすく子どもたちも集中できていたと思います。

<要望・感想（児童・生徒）> 事後アンケート

- ・とても楽しかったです。キックが上手くできるようになったので、嬉しかったです。
- ・競技で使う動きを根柢から教えてもらったのが良かったと思います。そのおかげでスポーツ自体の仕組みなど学びました。とても楽しかったです。
- ・信頼できるスタッフの方々ばかりでした。また来年もやりたいです。
- ・来年もやってほしい。
- ・期間を延ばしてほしい。
- ・対外的な試合（公式戦）に参加できるようになりたい。
- ・今後も続けたいと考えても、高校での活動可能範囲が少なすぎる。また、学校枠に関わらずできる環境がほしい。

総括

（運営について）

- 教育委員会と連携して伊藤学園、荏原平塚学園の学校朝礼においてオンラインでの周知や社会人チームラグビー選手を招いての募集・周知を行った。豊葉の杜学園においても保護者会により、第5学年から第9学年まで、幅広い申込みがあった。
- 教育委員会と連携し多くの会場で実施できた。
- メール、電話を活用し、迅速で丁寧な連絡、質問への回答を行い、児童・生徒、保護者から肯定的に受け止めがあった。
- ▶ 欠席者等へ緊急連絡について指導者以外の人員増など運営体制の更なる工夫が必要である。

（指導について）

- 活動時には、現役オリンピックをはじめ、有資格者が複数配置した。
- 指導者が、部員一人一人を大切にしながら前向きな言葉かけ、練習日誌へのコメントを記載した。
- 部員は、異年齢集団における活動により、よい影響があった。また、活動を通して、運動の楽しさを実感した。
- 部員の多くがラグビーに初めて関わる実態があったが、試合を楽しめるまでに技能が向上した。

2. 実証内容と成果



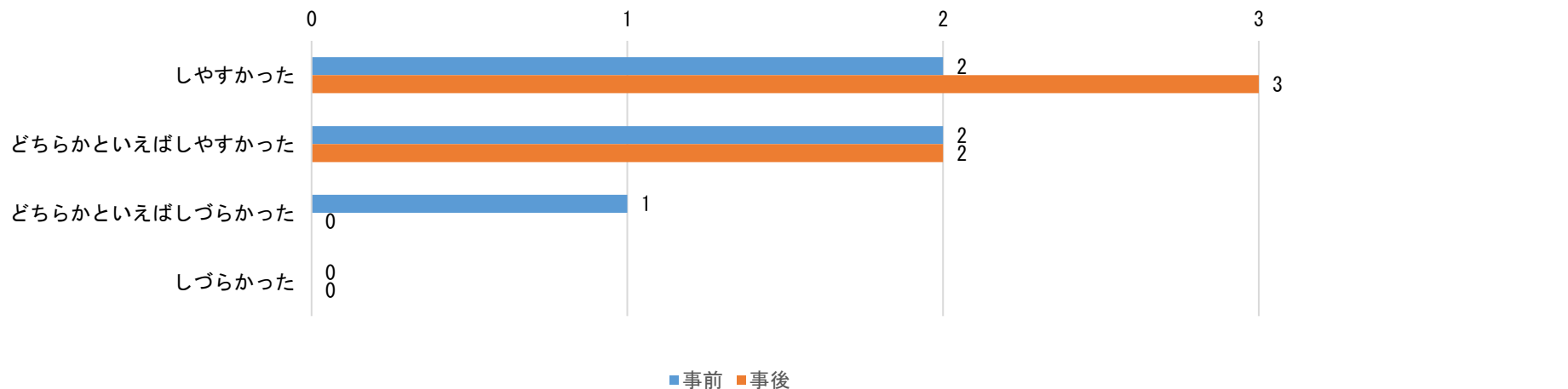
ホッケー 保護者 アンケート

5名（保護者）

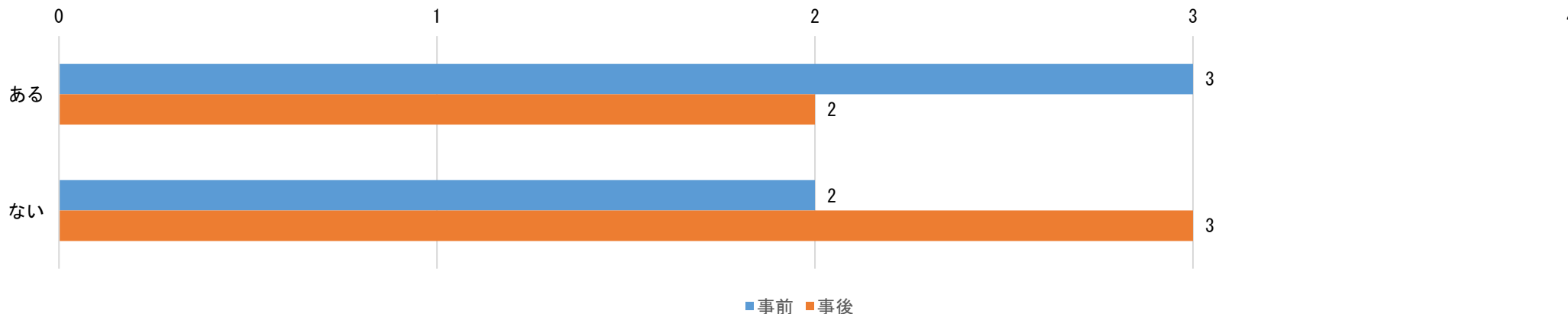
事前アンケート：令和5年11月2日（木）依頼

事後アンケート：令和6年1月21日（日）依頼

① 地域部活動主催者との連絡はしやすかったですか



② 不安なことはありますか



2. 実証内容と成果

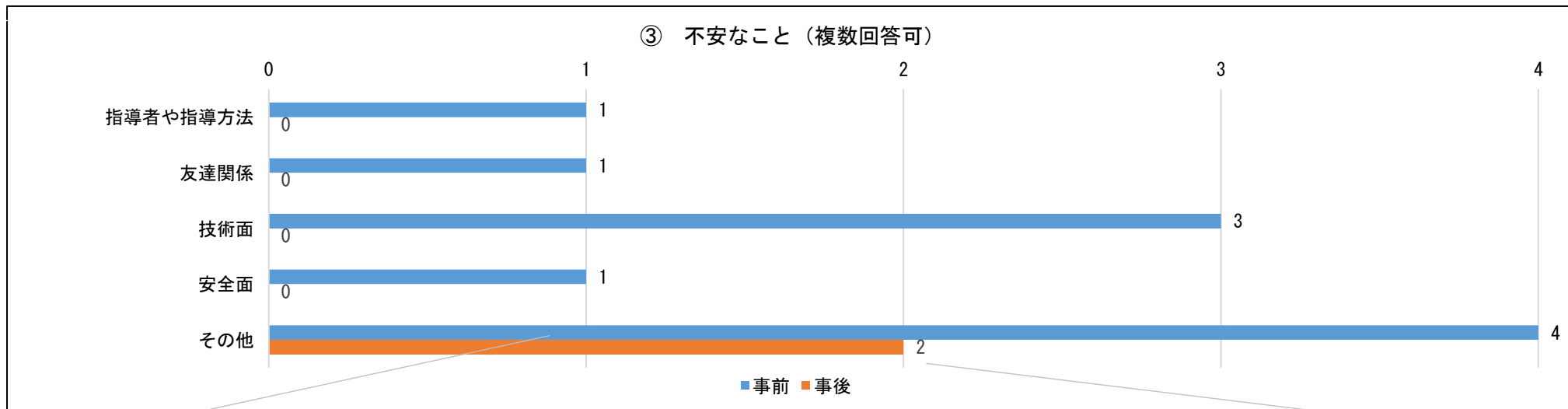


ホッケー 保護者 アンケート

5名（保護者）

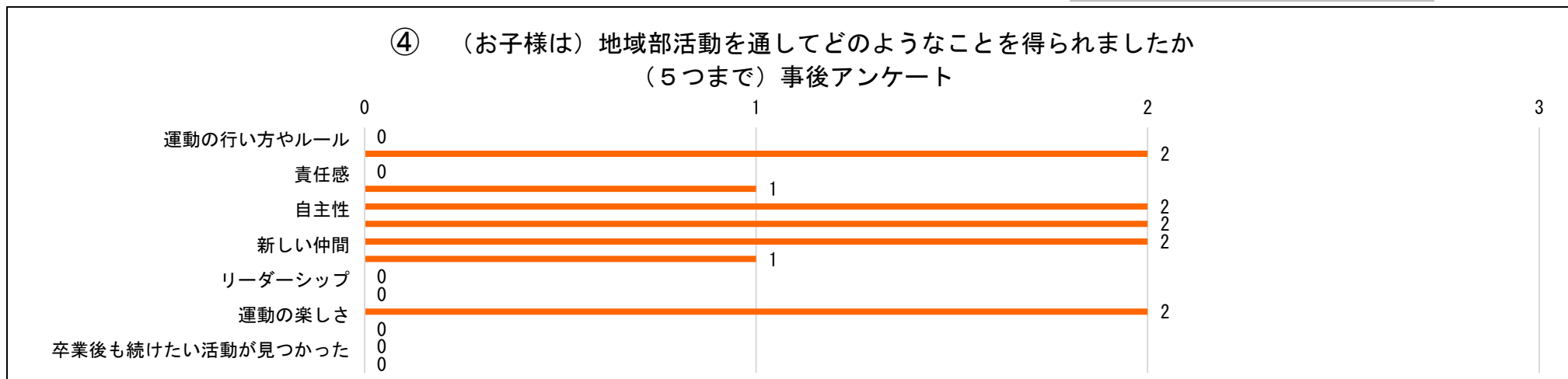
事前アンケート：令和5年11月2日（木）依頼

事後アンケート：令和6年1月21日（日）依頼



その他の記載（事前）
続けることができるか。
現部活との兼ね合い。等

その他の記載（事後）
交通手段。
参加人数が少なかった。



2. 実証内容と成果



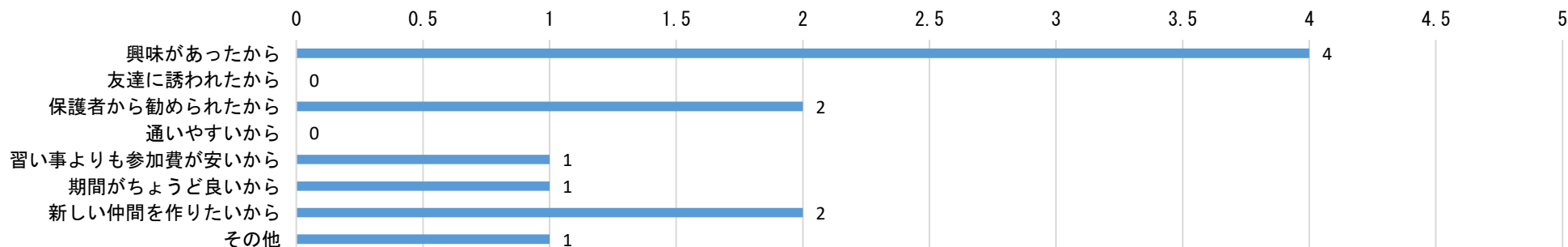
ホッケー 児童・生徒 アンケート

5名（児童・生徒）

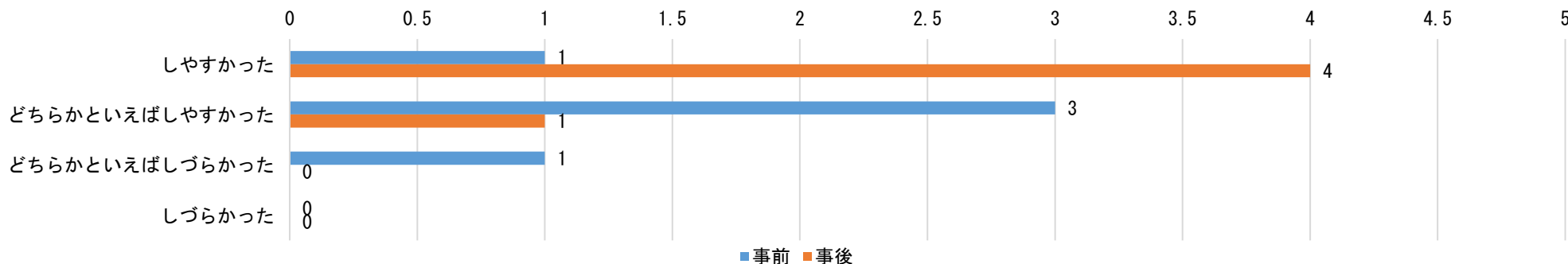
事前アンケート：令和5年11月2日（木）依頼

事後アンケート：令和6年1月21日（日）依頼

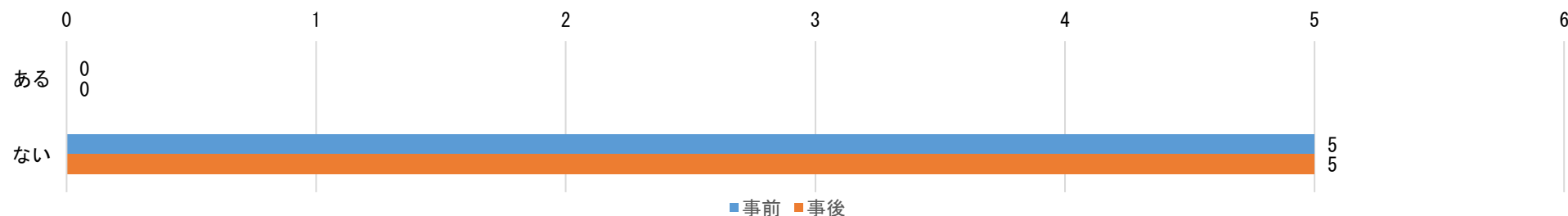
① 入部した理由（複数回答可）事前アンケート



② 地域部活動主催者との連絡はしやすかったですか



③ 不安なことはありますか



2. 実証内容と成果



ホッケー 児童・生徒 アンケート

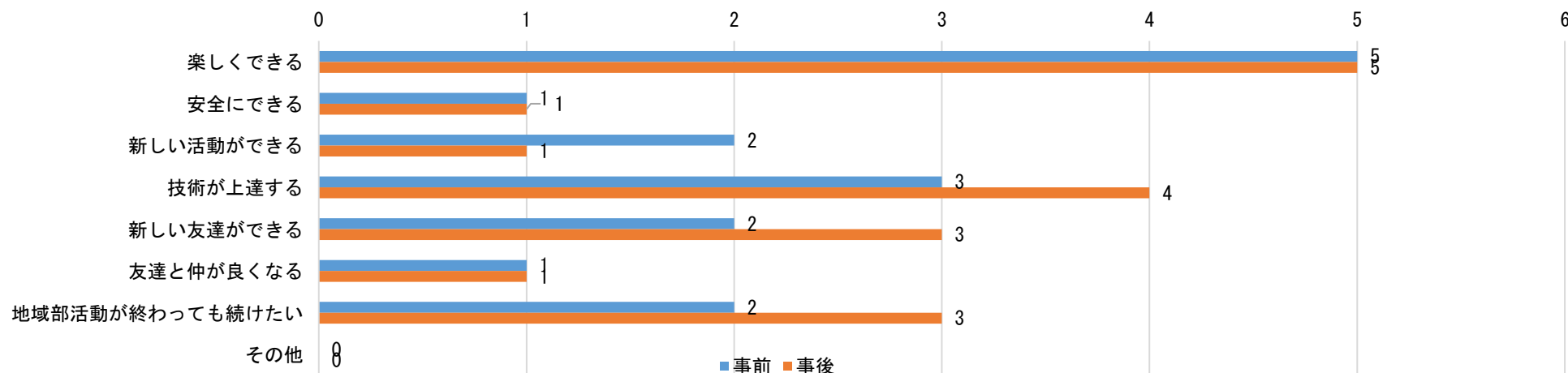
5名（児童・生徒）

事前アンケート：令和5年11月2日（木）依頼

事後アンケート：令和6年1月21日（日）依頼

④ 不安なことがないため省略

⑤ ホッケー部のイメージ（複数回答可）



⑥ 地域部活動を通してどのようなことを得られましたか 事後アンケート



2. 実証内容と成果

<練習日誌より>

- ・いつもと違う人とできて楽しかった。
- ・初めてホッケーをやってみてパスをうまくとれなかったけど、やっていくうちに点を決められたり、パスカットができたたりするとうれしかった。
- ・少しずつうまくとめられるようになってきた。パスで前を見るようにしたい。

<要望・感想（保護者）> 事後アンケート

- ・素敵な指導者の方々に恵まれて有意義な時間を過ごすことができました。
- ・チームワークができて、スキルもあがってきたころに活動終了となってしまったのがもったいなかった。年間通して活動できると今後につながると思う。
- ・すごく楽しそうにやっていました。コーチの指導もわかりやすくて子どもたちも集中できていたと思います。
- ・対外的な試合（公式戦）に参加できるようになりたい。
- ・今後も続けたいと考えても、高校での活動可能範囲がすくなくすぎる。また、学校枠にかかわらずできる環境がほしい。

<要望・感想（児童・生徒）> 事後アンケート

- ・新しい友達と運動できて楽しかったです。
- ・交流試合で正確なパスの大切さを知りました。また、新しい友達とホッケーをしたいです。
- ・また、このような機会があれば、ぜひやりたい。

総括

（運営について）

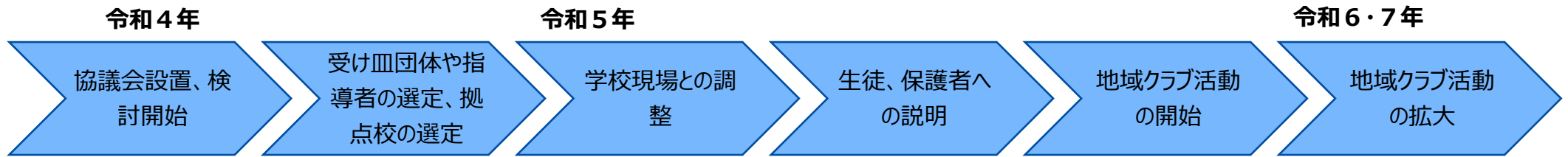
- スポーツ推進課と連携して、学校への周知ができた。
- 教育委員会と連携して八潮地域の関係の会場を確保した。
- 実際のホッケー場（オリンピックスタジアム）で、日ごろ活動している他の学校やクラブチームとの交流試合を設けることで、ホッケーに対する理解を深めた。
- 活動時には、元オリンピックをはじめ、有資格者が複数配置し、質の良いコーチ陣を集めることができた。
- メール、電話を活用し、迅速で丁寧な連絡、質問への回答を行い、児童・生徒、保護者から肯定的な受け止めがあった。
- ▶ 部員募集について期間が短く、十分な周知ができなかったため、次年度は、活動開始の前に地域部活動につながるような体験会を数回実施、広く周知を図るとともに、ホッケー部について理解いただく機会を設けて部員数確保に努める。

（指導について）

- コーチ陣が選手の話をよく聞いて、積極的に活動に参加できる雰囲気作りに努めた。
- 練習日誌にコーチがコメントを記載。練習日誌を教育委員会から部員所属の学校へ情報提供した。
- 部員は、異年齢集団における活動についてもよい影響、運動の楽しさを実感した。
- 部員、保護者ともに、指導者の質の高さについて好評であった。

2. 実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



令和4年度 部活動の現状

【生徒アンケートから】

- ・部活動に加入している生徒の92%が、現在の部活動を肯定的に捉えている。
- ・部活動に加入している生徒の58%が、現在の部活動とは別に、興味がある活動（週1回程度）できた場合、参加したいと考えている。
- ・合同部活動や地域での活動機会を増やした場合、75%の生徒が参加したいと考えている。

→部活動にはない種目等を週1回程度、地域で展開

【教員アンケートから】

- アンケート集計中（令和5年3月15日時点）
- ・232名の中学校・義務教育学校（後期課程）教員が回答。
- ・約3割（65名）の教職員が、「教員として働いているうちは部活動指導を続けたい」と考えている。
- ・約7割（158名）の教職員が、「土・日の部活動の兼業・兼職を（有償・無償を問わず）希望しない」と回答。

→教員の兼業・兼職の体制整備指導を望まない教員に代わる地域の指導員の拡充

【校区教育協働委員会から】

- ・一定数部活動指導をしたい教員がいる。
 - ・部活動は子どもたちの成長の場となっている。
 - ・部活動を地域移行することで、子どもたちの活動機会への影響や費用面の負担などが懸念される。
 - ・部活動を地域移行する場合、生徒理解など技術指導以外の部分も必要になる。
- 現在の部活動のメリットを維持しながら段階的に地域移行

令和5年度 取組事項

部活動指導員の拡充

協議会の設置

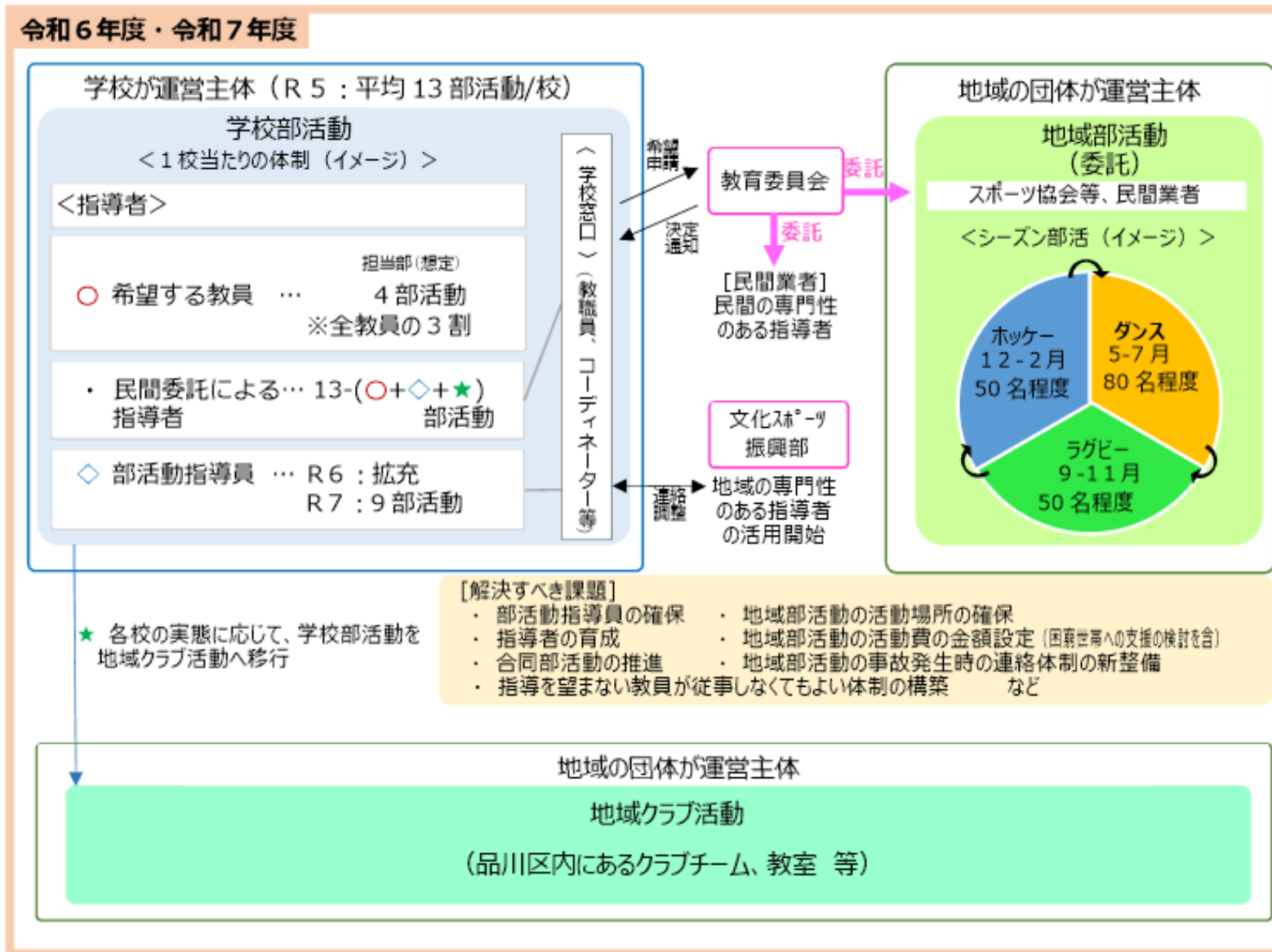
関係団体との連携

地域部活動の民間委託
(本実証事業含む)

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

スケジュール



**【東京都渋谷区】
令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業
（運動部活動の地域移行に向けた実証事業）**

自治体名	東京都渋谷区
担当課名	スポーツ振興課
電話番号	03-3463-3296

1. 自治体の基本情報

基本情報

人口	230,758人	部活動数	60部活
公立中学校数	8校	市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
公立中学校生徒数	1,951人	市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

【現状】

学校によって設置されている部活動の種目や数が異なっていたり、学校によっては1つの学校で1チームの編成ができないことがある。

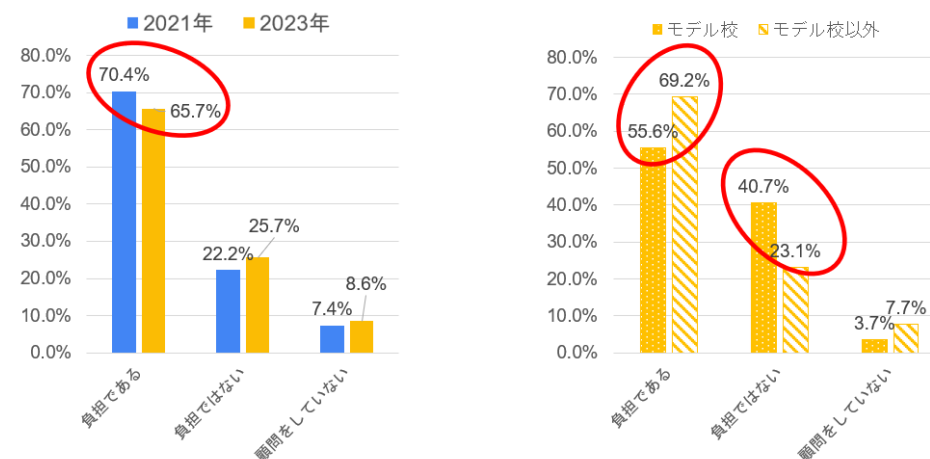
【課題】

部活動の顧問教員は、平日の活動に加え、土日の大会や練習試合への引率等、多忙なスケジュールを抱えている。特に教員自身が経験のない競技の顧問となった場合には、技術指導が十分ではなく、効果的な指導が行われないケースもある。教員の負担を軽減するとともに、経験豊富な指導者の確保が必要になる。

【取組】

渋谷区では、経験豊富な指導者の確保のため、部活動指導員や外部指導員の充実に努めてきた。令和3年10月には、渋谷区のスポーツや文化活動の振興・普及と区立中学校の部活動支援を目的として、一般社団法人渋谷ユナイテッドを設立した。渋谷ユナイテッドを中心に、部活動の魅力を再評価し、多様な活動の提供を開始。令和5年度から、「部活動地域連携モデル校」の取組を、区立中学校2校で実施。

教員の部活動に関する負担感

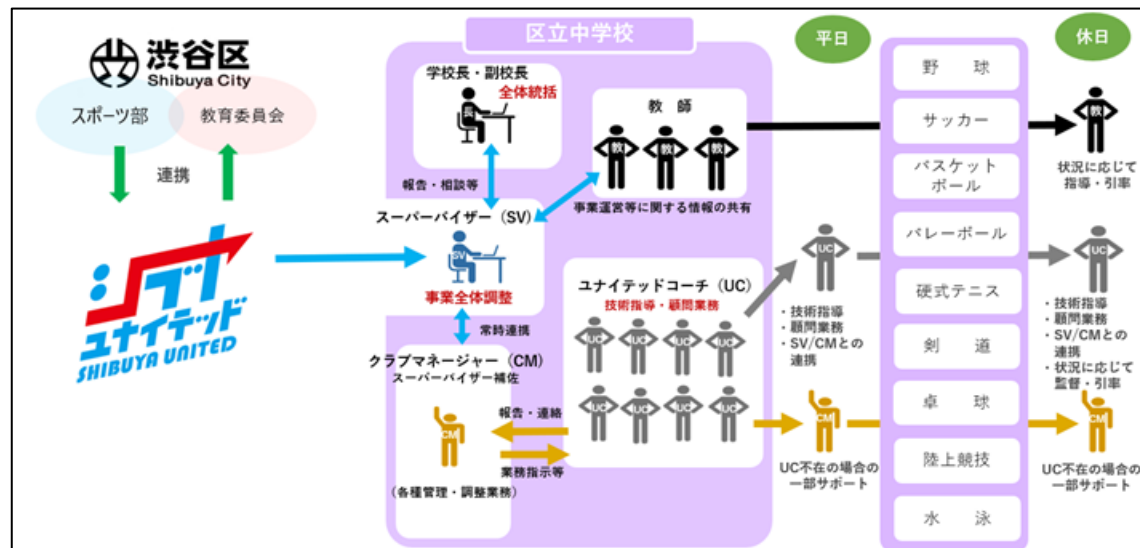


令和5年度区立中学校の教員を対象とした意識調査

2. 実証内容と成果

運営体制・役割

▼運営体制図（市区町村における推進体制図）



▼行政組織内での役割分担

- 教育委員会（教育指導課）
 - ・学校現場調整
- 首長部局（スポーツ振興課）
 - ・中学校部活動支援

←既存運動部活動の地域移行を推進する、「部活動地域連携モデル校」の取組を令和5年度から開始。渋谷ユナイテッドがスーパーバイザー、クラブマネージャー、ユナイテッドコーチを配置し、平日・休日における運動部活動が円滑に、かつ安全に実施できるように支援を行う。教員の負担を軽減するとともに、各競技において専門的な指導者を配置することで、生徒の技術向上等、充実した活動を促進させる。

年間の事業スケジュール

- 令和5年4月～ モデル校連絡会開催 渋谷区、渋谷ユナイテッド、モデル校校長等関係者との定期連絡会を実施。事業実施における課題共有・対応案の検討を行い、事業推進体制の強化を図る。4月・5月・6月・7月・11月・1月に実施
- 令和5年5月 保護者会での説明 学校主催の保護者会において、部活動地域移行をしていく体制やスケジュールについての説明を実施
- 令和5年6月 スーパーバイザー（事業総括業務を担う職員）をモデル校に配置
ユナイテッドコーチ研修会開始
- 令和5年8月 指導者プロフィールの配布
どのようなスタッフが現場に入っているかがわかるよう、スーパーバイザー・クラブマネージャー・ユナイテッドコーチの写真入りプロフィールを作成
- 令和5年11月 部活動に関する意識調査を教員向けに実施（区立中学校全教員対象）
顧問教員ヒアリング 令和5年度モデル校と令和6年度モデル校予定校を対象に、部活動に関する意識調査を基に聞き取りを実施。運動部活動の実態調査をはじめ、どのような内容に留意して指導を行っているかなど、部活動ごとに個別ヒアリングを実施
- 令和6年3月 ユナイテッドコーチ及び今後の部活動に関するアンケート調査（モデル校に所属する生徒）（予定）

2. 実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

拠点校数（モデル校）	2校	地域クラブ活動に取り組んだ種目	男子バレーボール、女子バレーボール、男子バスケットボール、女子バスケットボール、野球、サッカー、硬式テニス、ソフトテニス、陸上、水泳、剣道、卓球
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数	18部活		

主な取組例

▼活動概要

拠点校名	代々木中学校
地域クラブ活動に移行した部活動数	9部活
地域クラブ活動で実施した種目	バレーボール、バスケットボール、野球、サッカー、硬式テニス、陸上、水泳、剣道、卓球
運営主体名	一般社団法人渋谷ユナイテッド
運営類型	市区町村運営型（任意団体設立型）
1か月あたりの平均的な活動回数	月16回程度
指導者の主な属性	運営事業者契約コーチ
活動場所	代々木中学校

拠点校名	原宿外苑中学校
地域クラブ活動に移行した部活動数	7部活
地域クラブ活動で実施した種目	陸上、女子バレーボール、野球、男子バスケットボール、女子バスケットボール、ソフトテニス、卓球
運営主体名	一般社団法人渋谷ユナイテッド
運営類型	市区町村運営型（任意団体設立型）
1か月あたりの平均的な活動回数	月16回程度
指導者の主な属性	運営事業者契約コーチ
活動場所	原宿外苑中学校

渋谷ユナイテッドがスーパーバイザー、クラブマネージャー、ユナイテッドコーチを配置し、平日・休日における運動部活動が円滑に、かつ安全に実施できるように支援を行う。教員の負担を軽減するとともに、各競技において専門的な指導者を配置することで、生徒の技術向上等、充実した活動を促進させる。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保証・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

取組内容

▼取組項目名：イ：指導者の質の保証・量の確保

取組事項

区で設立した一般社団法人渋谷ユナイテッドが中心となり、質の高い指導者を適切な規模で確保した。指導者は、各種目の専門知識および指導経験を持った人材を採用し、加えて、指導者に向けた研修などを適宜実施した。

取組の成果

ユナイテッドコーチ（指導者）には、本活動が始まる前に事前研修を行い、技術指導の他に顧問業務の引継ぎが一段落してきた11月から、月毎にテーマを変えての研修会を開催した。

研修会では、コーチ同士で、指導時に気をつけていることや生徒の呼び方（さんづけについて）についてディスカッション形式で発言の共有を行ったことで、ユナイテッドコーチが他部活動の状況や他のユナイテッドコーチの指導方針、多様な考え方を知る機会を作れた。

また、モデル校の生徒を対象に、生徒の目から見た部活動運営に対する現状把握・改善策の検証・今後のモデル校拡大に向けて定常的に満足度を確認や比較することを目的にアンケート調査を行う予定。

研修風景



今後の課題と対応方針

顧問教員の負担軽減となるよう、既存体制にも配慮しつつ指導者の確保を行っていく。指導者向けの研修では、生徒アンケートの結果を活用し、リアルな生徒の声を反映した指導を展開していく。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

▼取組項目名：ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

区で設立した一般社団法人渋谷ユナイテッドが中心となり、既存の体制に配慮しながら、区・学校・指導現場と緊密に連携を図ってきた。関係者が一同に会し、状況や課題を共有する打ち合わせを定期的を実施。

取組の成果

①定例会・・・スポーツ振興課、教育指導課、渋谷ユナイテッド、渋谷ユナイテッドと連携しユナイテッドコーチを派遣する事業者との定例会を実施。実際の部活動現場レベルでの細かい課題共有や対応案の検討を行い、質の高い指導者の確保・育成を目指すとともに、日々安全・安心な運営が行えるように定期的を開催した。

令和5年度実施日…4月11日、4月25日、5月10日、5月25日、6月20日、7月13日、7月27日、8月24日、9月28日、10月25日、11月30日、1月15日、2月9日、2月29日

②モデル校連絡会・・・スポーツ振興課、教育指導課、渋谷ユナイテッド、モデル校の校長、渋谷ユナイテッドと連携しユナイテッドコーチを派遣する事業者との定期連絡会を実施。事業実施における課題共有・対応案の検討を行い、事業推進体制の強化に取り組んだ。

令和5年度実施日…4月28日、5月23日、6月26日、7月18日、11月1日、1月29日

モデル校連絡会風景



今後の課題と対応方針

顧問教員の負担軽減となるよう、指導者の確保を学校・区と緊密に連携しながら行い、連携強化を図っていく。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

取組内容

▼取組項目名：オ：内容の充実

取組事項

生徒のニーズに適応する種目を設定し、継続的に活動できる機会の確保に取り組む

取組の 成果

- 区立中学校の合同部活動を陸上部で実施（モデル校2校の陸上部はユナイテッドコーチが会場へ引率し参加が可能となった）。
- ・普段学校では実施しない陸上種目（走り幅跳び・走り高跳び・投擲）を行い、生徒たちに新たな興味を持ってもらうことができた。学校では練習できない種目のため、参加している生徒は非常に熱心に練習を行っていた。
 - ・合同部活動なので、他校の現状を知ることができ、生徒たちも周りを意識して普段の練習より集中していた。
 - ・参加するにつれて、積極的な生徒が増えてきて、コーチに質問している生徒も出てきた。

陸上練習会風景



今後の 課題と 対応方針

今後も生徒たちが継続して活動できる機会の確保に努めていく。

2. 実証内容と成果

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

原宿外苑中学校 ユナイテッド	
サッカー部	<p>氏名 大木 智博 (2021年卒)</p> <p>プロフィール 高校1年 関東大会ベスト</p> <p>経歴 高校1年 SC優勝 高校2年 高校3年 SC優勝 高校3年ベスト</p> <p>所属 原宿外苑中学校</p> <p>経歴 高校1年 SC優勝 高校2年 SC優勝 高校3年 SC優勝</p>
バレーボール部	<p>氏名 高橋 真由 (2021年卒)</p> <p>プロフィール 高校1年 SC優勝</p> <p>経歴 高校1年 SC優勝 高校2年 SC優勝 高校3年 SC優勝</p> <p>所属 原宿外苑中学校</p> <p>経歴 高校1年 SC優勝 高校2年 SC優勝 高校3年 SC優勝</p>
陸上部	<p>氏名 佐藤 真由 (2021年卒)</p> <p>プロフィール 高校1年 SC優勝</p> <p>経歴 高校1年 SC優勝 高校2年 SC優勝 高校3年 SC優勝</p> <p>所属 原宿外苑中学校</p> <p>経歴 高校1年 SC優勝 高校2年 SC優勝 高校3年 SC優勝</p>
バドミントン部	<p>氏名 佐藤 真由 (2021年卒)</p> <p>プロフィール 高校1年 SC優勝</p> <p>経歴 高校1年 SC優勝 高校2年 SC優勝 高校3年 SC優勝</p> <p>所属 原宿外苑中学校</p> <p>経歴 高校1年 SC優勝 高校2年 SC優勝 高校3年 SC優勝</p>

原宿外苑中学校 ユナイテッド	
バドミントン部	<p>氏名 佐藤 真由 (2021年卒)</p> <p>プロフィール 高校1年 SC優勝</p> <p>経歴 高校1年 SC優勝 高校2年 SC優勝 高校3年 SC優勝</p> <p>所属 原宿外苑中学校</p> <p>経歴 高校1年 SC優勝 高校2年 SC優勝 高校3年 SC優勝</p>
ソフトテニス部	<p>氏名 佐藤 真由 (2021年卒)</p> <p>プロフィール 高校1年 SC優勝</p> <p>経歴 高校1年 SC優勝 高校2年 SC優勝 高校3年 SC優勝</p> <p>所属 原宿外苑中学校</p> <p>経歴 高校1年 SC優勝 高校2年 SC優勝 高校3年 SC優勝</p>
陸上部	<p>氏名 佐藤 真由 (2021年卒)</p> <p>プロフィール 高校1年 SC優勝</p> <p>経歴 高校1年 SC優勝 高校2年 SC優勝 高校3年 SC優勝</p> <p>所属 原宿外苑中学校</p> <p>経歴 高校1年 SC優勝 高校2年 SC優勝 高校3年 SC優勝</p>
バレーボール部	<p>氏名 佐藤 真由 (2021年卒)</p> <p>プロフィール 高校1年 SC優勝</p> <p>経歴 高校1年 SC優勝 高校2年 SC優勝 高校3年 SC優勝</p> <p>所属 原宿外苑中学校</p> <p>経歴 高校1年 SC優勝 高校2年 SC優勝 高校3年 SC優勝</p>

地域でつながる スポーツの新しいカタチ

一般社団法人渋谷ユナイテッドは渋谷区に住民も。渋谷で働く人、渋谷で学ぶ人、渋谷が好きな人など「渋谷区」の誰もがスポーツや文化活動を楽しく「見る」「支える」「つなげる」健康を通して、生涯に渡り、心身の健康を地産する取り組みや、環境を創ることを目指します。

【渋谷ユナイテッドの活動理念】

- 渋谷区のスポーツや文化活動の振興・普及に努めます。
- スポーツや文化活動を通して、関わるすべての人たちが豊かな人間性を養い、人間的成長を促進していきます。
- 生涯に渡ってスポーツや文化活動に楽しみ、心身の健康を地産する取り組み、機会と会場を創造します。

一般社団法人 渋谷ユナイテッド

<https://shibuyauitedd.tokyo/>

TEL: 03-5426-6755

©一般社団法人 渋谷ユナイテッド All rights reserved.

子供たちが、スポーツや文化活動に楽しく参加できるように、渋谷ユナイテッドは、地域が支える新しい部活動のやり方として、シブヤ「部活動改革」プロジェクトに取り組んでいます。また、子供から大人まで、さまざまな形で関わることができる地域クラブとして、スポーツや文化活動の振興を通して、地域の人が交流できるコミュニティづくりを行っています。

SHIBUYA UNITED

1 学校部活動の地域連携・地域移行

教員の働き方改革等の社会課題に向き合い、生徒が部活動を続けることができるように、学校と連携しながら、新しい仕組みづくりを行っています。まずは原宿外苑中学校、代々木中学校の2つを「モデル校」として設定し、地域で支援する指導体制を構築しています。

2 学校部活動にはなかった「やりたいが見つかるユナイテッドクラブ

生徒のニーズ調査を実施し、学校部活動にはなかった新しいクラブを創設・運営しています。

- サッカー部
- ボウリング部
- ラグビー部
- フェンシング部
- ダンス部
- ボッチャ部
- デジタルクリエイティブ部
- eスポーツとメタバースでおそ部
- 将棋部
- 料理・スイーツマスタース部

3 地域でつながる教室&イベント

幼児や小学生を対象にした「泳装教室」や「かけこ教室」、元トップ選手が講師を務める「ダンス教室」のほか、スポーツ科学に基づいた体力測定やイベント等、年齢やレベルを問わずスポーツや文化活動を通じて、地域のコミュニティづくりを進めています。

今後はさらにすべての渋谷区に拡大

渋谷に住む人、渋谷で働く人、渋谷で学ぶ人、渋谷が好きな人

スポーツ・文化活動を「見る・支える」そして地域でつながる「部」の創出

【原宿外苑中学校プロフィール資料】

【シブヤユナイテッドリーフレット】

2. 実証内容と成果

参考資料（活動写真）



【原宿外苑中学校 バスケットボール部】



【代々木中学校 剣道部】



【代々木中学校 校長・副校長との打合せ】



【指導者研修会】

2. 実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



1. モデル校での実施・検証

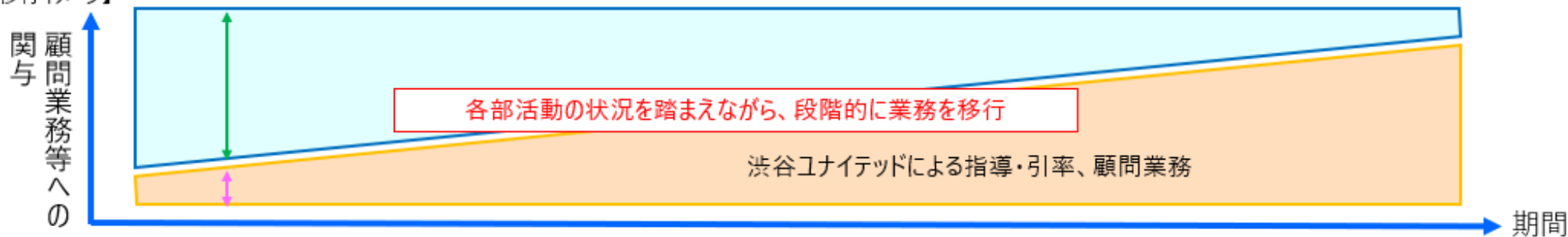
R5年度は中学校部活動改革モデル校（2校）において効果検証事業を実施する。具体的には、渋谷ユナイテッドがスーパーバイザー、クラブマネージャー、ユナイテッドコーチを配置し、平日・休日における運動部活動が円滑に、かつ安全に実施されるよう支援を行う。

モデル校に配置	主な業務内容
スーパーバイザー（総括責任者）	総括業務、研修会等の実施 等
クラブマネージャー	スーパーバイザー補佐業務、ユナイテッドコーチの事務業務フォロー 等
ユナイテッドコーチ	専門技術指導及び競技大会引率、顧問業務 等

2. 地域移行を検証する上でのポイント

- （1）生徒に混乱が生じないよう、ユナイテッドコーチが大会において監督・引率を行えるよう関係各所と調整を行う。
- （2）質の高い指導者を確保・配置するとともに、生徒が安心・安全に活動できる環境を整備する。
- （3）行政・学校・渋谷ユナイテッドでのコミュニケーションを密にし、円滑な事業運営に努める。

【移行イメージ】



3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

